

消 防 年 報

令 和 2 年 度 版



小 豆 地 区 消 防 本 部
(令 和 3 年 刊 行)

は し が き

1. この年報は、令和2年中における小豆地区消防本部の業務に関する諸般の事項についてその実態を収録し、広く一般に紹介するとともに将来の消防防災活動の資料とするため作成しました。
2. この統計中、予算関係事項については会計年度とし、火災・救急統計は歴年、その他については当該表右上部に収録期日を表しています。

令和3年9月

小豆地区消防本部

目 次

総 務

1. 位置及び自然的条件	1
2. 管内図と消防本部・署の位置	2
3. 小豆郡内常備消防の沿革	3
4. 消防の沿革（組合）	4～11
5. 主たる総務行事	12
6. 歴代管理者	13～14
7. 歴代消防長	14～15
8. 歴代消防署長	15～16
9. 消防の組織・機構	17
10. 事務分掌	18～19
11. 管内面積及び人口・世帯数	19
12. 消防庁舎の現状	20
13. 職員の勤務年数	20
14. 職員の年齢	21
15. 職員の配置状況	21
16. 消防力の現勢	22
17. 消防職員・消防車等に対する人口及び世帯数の割合	22
18. 消防予算	23
19. 令和3年度町別一般会計予算と消防予算	23
20. 消防費基準財政需要額及び町負担金	23
21. 職員特殊技能資格取得状況	24
22. 職員教養状況調	25
23. 職員居住地調	25
24. 職員任用退職状況調	26
25. 職員の推移	27

予 防

1. 主たる予防行事	28
2. 「防火優良認定証」交付対象物状況	28
3. 自主防災組織の現況	28～29
4. 防火対象物現況表	30
5. 防火管理者選任届状況	31
6. 建築同意事務処理状況	32～33
7. 危険物施設の現況	34
8. 危険物施設の許認可状況	34
9. 各種届出事務処理状況	35
10. 広報・広聴実施状況	35
11. 中高層建築物（4階以上）の現況表	36

消 防 防 災

1. 主たる警防行事	3 7
2. 主たる救急行事	3 7
3. 消防車両等配置状況	3 8
4. 主な機械器具の配置状況	3 9～4 0
5. 消火薬剤の備蓄状況	4 0
6. 消防水利の現況	4 1
7. 防災関係届出事務処理状況	4 1
8. 災害別出動状況	4 1
9. 救急法指導状況	4 2

情 報 指 令

1. 消防通信指令システム系統図	4 3
2. 通信施設状況	4 4～4 6
3. 1 1 9 番受信状況	4 7
4. 気象状況（観測地：消防本部）	4 7
5. 気象情報受理状況	4 8

火 災 統 計

1. 火災発生状況	4 9
2. 時間別火災状況	5 0
3. 月・曜日別火災状況	5 0
4. 月別火災状況	5 1
5. 覚知別火災状況	5 1
6. 原因別火災状況	5 1
7. 建物火災用途別火災状況	5 2
8. 過去10ヶ年の火災状況	5 2

救 急 統 計

1. 事故別救急出場状況	5 3
2. 覚知別救急出場状況	5 3
3. 医療機関等収容可能状況照会回数	5 3
4. 救急隊員の行った応急処置数	5 4
5. 時間別救急出場状況	5 4
6. 曜日別救急出場状況	5 5
7. 現場到着所要時間別出場状況	5 5
8. 収容所要時間別搬送人員	5 5
9. 年齢区分別搬送人員	5 6
10. 発生場所別搬送人員	5 6
11. 管轄外転院搬送件数	5 6
12. 傷病程度別搬送人員	5 7
13. 小豆2町、年別救急出場状況	5 7
14. 過去10ヶ年の主な救急出場状況	5 7

消 防 団

1. 2町消防団現勢分布図	5 8
2. 消防団の組織・機構	5 9
3. 消防団員の勤務年数及び年齢	6 0
4. 消防団員数及び装備状況	6 0～6 1
5. 町別消防車両等種別現況	6 1～6 2
6. 消防団員報酬調	6 2
7. 消防団員諸手当調	6 2

総務



総 務

1. 位置及び自然的条件

小豆島は、香川県の北東部に位置し、瀬戸大橋と鳴門大橋が展望でき、瀬戸内海では淡路島に次いで大きな島であり、土庄町、小豆島町の2町で構成されている。

地形は、全島ほとんどが花崗岩を基盤とする山地で、平坦地は主として、南に向けて開けており、東西及び北に面する地域は、山が急斜面をなして海中に入り、極めて小さな平坦地が点在する。

奇峰の多い山岳地形の中には、瀬戸内海地域における最高峰816mの星ヶ城山を有し、また、海岸線はリアス式海岸特有の美しい曲線を描いており、瀬戸内海国立公園の「寒霞溪」をはじめ豊かな観光資源に恵まれている。

四季を通じて温和な気候に恵まれ、全国でも名を高めている醤油、佃煮、手延そうめん等の製造及び電照菊の栽培が盛んであり、中でも県花、県木となっているオリーブの栽培に適し南国情緒豊かな島である。



3. 小豆郡内常備消防の沿革

内 海 町

昭和 37 年 4 月	内海町消防団常備部を新設し、常勤消防団員 3 名採用する。
6 月	常勤消防団員 1 名内海町へ。
10 月	常勤消防団員 2 名採用、初動態勢の確立を期し常備消防業務を開始する。 夜間は常勤消防団員 2 名、非常勤消防団員 3 名にて当直を実施し初動態勢の強化を図った。(昭和 38 年 3 月まで実施)
昭和 38 年 4 月	常勤消防団員 3 名採用、常勤消防団員 7 名となる。
7 月	消防庁舎を安田甲 1 4 4 の 9 0 (町役場敷地内) に新築する。
10 月	常勤消防団員 1 名増員 (内海町より) 常勤消防団員 8 名となる。
昭和 41 年 8 月	常勤消防団員 1 名退職し、1 名採用する。
昭和 45 年 3 月	常勤消防団員 1 名退職、常勤消防団員 7 名となる。
4 月	内海町消防団常備部を廃止し、内海町消防本部を新設する。職員 3 名採用、職員 1 0 名となり、災害早期覚知、早期出動及び予防行政の強化を期し、その任にあたる。

土 庄 町

昭和 38 年 4 月	高層大型化する町内旅館群等の急増から予防行政の強化を期し、町役場内に土庄町消防本部を新設、職員 4 名にてその任にあたる。夜間当直 1 名。
10 月	消防本部内に兼務消防隊 (役場職員 1 2 名) を設置し、初動態勢の強化を図った。
昭和 39 年 4 月	消防本部を土庄町甲 6 1 2 (土庄分団屯所内) へ移転する。 職員 3 名を採用し、専任職員 7 名となる。
昭和 41 年 4 月	職員 1 名土庄町へ、職員 1 名採用する。
10 月	レンジャー訓練を開始する。
昭和 42 年 6 月	職員 3 名を採用し、専任職員 1 0 名となる。
11 月	専任職員 2 名を編成して旅館群、病院等の夜間パトロールを開始。 (本年より毎年火災多発期の 1 1 月～3 月実施) 夜間当直 2 名。
昭和 43 年 4 月	政令指定により消防本部内に土庄消防署を設置する。
6 月	職員 3 名増員 (土庄町より) 専任職員 1 3 名となる。 消防本部・署を土庄町甲 5 6 1 (旧土庄中学校) へ移転する。
昭和 44 年 4 月	職員 4 名採用し専任職員 1 7 名となる。
10 月	消防署の編成を 1 車隊 6 名とし、隔日勤務体制を敷く。
昭和 45 年 2 月	消防本部・署を土庄町湊崎甲 2 0 4 4 (旧土地改良事務所) へ移転する。
4 月	女性職員 1 名増員 (土庄町より) 職員 1 8 名となる。
昭和 46 年 7 月	職員 1 名増員 (土庄町より) 職員 1 9 名となる。
昭和 47 年 3 月	職員 2 名土庄町へ、職員 1 7 名となる。

消防組合設立への機運

昭和45年1月12日池田町内の2ヵ所から同時に出火した林野火災は延々3日間にわたり燃え続け、1月14日 延べ524haを焼失し鎮火となった。全国史上9番目の大火となったが、この火災を教訓に島内消防力の強化と指揮権の一本化、効率的な運用が叫ばれ、消防組合設立への機運が本格化したものである。

4. 消防の沿革（組合）

昭和46年7月	小豆3町広域消防促進協議会を設置、会長に大森土庄町長、副会長に川北内海町長、佐々木池田町長を選出。 構成メンバー（3町町長、3町議長、3町総務課長、3町消防団長、土庄町消防本部消防長）
9月	広域消防整備計画案を決定、各町議会において、小豆地区消防組合規約が議決される。
10月	広域消防組合政令指定を希望する旨、消防庁に申請する。
11月	香川県知事より一部事務組合の発足について許可される。
12月	土庄町消防本部にて、小豆地区消防組合職員の採用試験が実施される。
昭和47年3月	小豆3町広域消防促進協議会を解散する。
4月	小豆地区消防組合発足、事務所を旧土庄町消防本部に置く。 消防職員16名採用、内海町より1名、池田町より1名、職員総数45名となる。
5月	消防職員1名、女性事務職員1名採用、職員総数47名となる。
6月	消防本部、消防署合同庁舎の建設工事に着手する。消防職員1名内海町へ、職員総数46名となる。
7月	消防署池田分署庁舎の建設工事に着手する。消防署内海分署へ消防本部より職員1名配置し、11名となる。
9月	消防署内海分署庁舎の建設工事に着手する。
10月	救急車（トヨタハイエース2B型）を購入し、消防署において救急業務を開始する。同時に救急要員6名を増員、消防署員数21名となる。
12月	消防ポンプ車（ニッサンFH60型）2台購入、消防署及び内海分署に配置する。
昭和48年1月	消防本部・消防署合同庁舎落成し、（土庄町甲557-4）移転する。 消防署池田分署庁舎落成し（池田町大字池田2099-4）業務を開始する。 分署署員数 2名 消防ポンプ車 1台
3月	消防署と内海分署に無線基地局を設置、移動局4基、携帯局4基とあわせて業務を開始する。 日本損害保険協会より土庄町が消防ポンプ車（トヨタFJ55V）の寄贈を受け小豆地区消防組合へ移管し消防署へ配置する。（旧ポンプ車は池田分署へ配置する。）消防職員1名退職、職員総数45名となる。
4月	「消防本部及び消防署を設置しなければならない町村」として政令指定を受け消防職員17名を採用、職員総数62名となる。池田分署へ3名増員し、分署署員5名となり、夜間は通信員1名常駐する。 内海分署庁舎落成し（内海町安田甲144-90）移転する。
5月	消防職員1名土庄町へ、職員総数61名となる。
7月	消防職員1名退職し、職員総数60名となる。
8月	内海分署へ2名増員し、分署署員数13名となる。

	消防職員 1 名退職し、職員総数 5 9 名となる。
9 月	無線移動局 3 基、携帯局 5 基を増設し、消防署と各分署へ配置する。
11 月	消防署へ消防救急指令装置（NEC、FD201 型）を設置し、運用を開始する。
昭和 49 年 1 月	池田分署へ 6 名増員し、分署署員数 1 1 名となり隔日勤務体制をとる。
3 月	消防職員 2 名土庄町へ、1 名内海町へ転出し、職員総数 5 6 名となる。
4 月	消防職員 6 名採用、職員総数 6 2 名となる。
	内海分署へ救急車（トヨタハイエース 2 B 型）を配置するとともに 6 名を増員しポンプ車隊、救急車隊の 2 隊編成をとり分署署員数 1 9 名となる。池田分署へ 2 名増員し、分署署員数 1 3 名となる。
5 月	内海分署において、救急業務を開始する。
7 月	消防本部へ査察広報車（トヨタカローラバン）を配置する。旧車は池田分署へ配置する。
	7 月 6 日、台風 8 号による集中豪雨で内海町全域にわたり山津波が発生、橘地区を中心に死者 2 9 名、重軽傷者 4 2 名、家屋全半壊 1 2 8 戸を出す大惨事となる。
	大雨警報、洪水注意報発令と同時に災害活動及び救出、救助活動にあたる。
8 月	内海分署、消防ポンプ車老朽のため、消防ポンプ車（ニッサン F H 6 0 型）を購入配置する。
昭和 50 年 3 月	消防職員 2 名退職し、職員総数 6 0 名となる。
	無線移動局 1 基、携帯局 5 基を増設する。
4 月	消防職員 2 名採用、職員総数 6 2 名となる。
6 月	内海町より 1 名、職員総数 6 3 名となる。
7 月	池田分署へ消防ポンプ車（ニッサン F H 6 0 型）を購入配置する。旧車は内海分署へ移管する。
9 月	無線移動局 2 基、携帯局 1 基を増設する。小豆島防火協会が設立される。
11 月	消防本部の事務機構を改革し、総務、予防、警防の 3 課制をとる。
昭和 51 年 3 月	消防職員 2 名退職し、職員総数 6 1 名となる。
4 月	消防職員 3 名採用、職員総数 6 4 名となる。
9 月	防災工作車（トヨタハイエース W キャブ）を 2 台購入、内海分署、池田分署へ配置し、旧車は廃車する。
	台風 1 7 号により、9 月 8 日から 9 月 1 3 日までに小豆島全域にわたり、わずか 6 日間で年間降雨量を超える 1, 4 0 0 ミリ（1 1 日～1 2 日で 8 0 0 ミリ）という記録的な豪雨となり、瞬時にして 3 9 名もの尊い生命を奪うという大惨事となった。
	史上空前ともいわれる集中豪雨による大雨洪水警報発令と同時に全署員を動員し、警戒、防ぎよ、資材の運搬等にあたる。しかし、9 月 1 2 日になり島内随所で被害が続出したため、消防職団員一致団結し、避難誘導、行方不明者の搜索、負傷者、遺体の搬送、給水作業等に延々 1 2 日間連続出動する。
	延出動職員数 7 3 9 名 延出動車両台数 7 5 台
	被害の概要
	死 者 39 名 重軽傷者 81 名 被災世帯 2, 665 世帯
	全壊家屋 209 戸 半壊家屋 268 戸 床上浸水 2, 149 戸
	床下浸水 2, 942 戸
11 月	消防職員 1 名退職、職員総数 6 3 名となる。無線移動局 1 基、携帯局 3 基を増設する。
昭和 52 年 1 月	臨時事務職員 1 名採用。

	3 月	無線携帯局 3 基を増設する。
	4 月	消防職員 1 名池田町へ、職員総数 6 2 名となる。
	6 月	消防職員 1 名内海町へ、職員総数 6 1 名となる。
昭和 53 年	4 月	消防職員 4 名採用、土庄町より 1 名、職員総数 6 6 名となる。
	5 月	土庄町大部琴塚に、無線の不感地区解消のため無線中継局を新設する。
	7 月	異常渇水のため、全島において水不足となり、井戸、池等の水が減水、又水道断水、時間給水が続き、5 4 年 2 月中旬から全面給水となった。
	8 月	異常渇水対策として、日勤者を隊へ編入し、初動態勢の強化を図る。(1 0 月中旬まで実施する。) 内海分署へ 2 名増員し、分署署員数 2 1 名となる。
	9 月	日本消防協会より、救急車 (トヨタハイエース 2 B 型) の寄贈を受け、本署へ配置する。
昭和 54 年	3 月	内海町福田に無線の不感地区解消のため無線中継局を新設する。
	7 月	小型動力ポンプ (ラビット可搬式) を購入し、内海分署へ配置する。
	10 月	油火災用ユニット式ポンププロポーションナー 1 式を 2 基購入し、本署と内海分署へ配置する。
	11 月	小豆地区少年婦人防火委員会が設立される。
	12 月	土庄町内に原因不明の林野火災が続いたため、土庄町前島及び四海地区のパトロールを開始する。
昭和 55 年	3 月	消防職員 1 名、臨時事務職員 1 名退職し、職員総数 6 5 名となる。
	4 月	消防職員 3 名採用、職員総数 6 8 名となる。
	6 月	小型動力ポンプ (ラビット可搬式) 2 台を購入し、本署と池田分署へ配置。
	8 月	消防他 3 つの一部事務組合を統合して小豆地区広域行政事務組合が新たに発足、これに伴い小豆地区消防組合は解散。事務所を小豆島老人ホームに置く。小豆地区消防本部と改称し、事務職員 1 名小豆地区広域行政事務組合へ。職員総数 6 7 名となる。
	10 月	油火災用ユニット式ポンププロポーションナー 1 式を購入し池田分署へ配置。
	11 月	油火災用特殊防火衣を 2 着購入し、本署へ配置する。 日本自動車工業会より救急車 (トヨタハイエース 2 B 型) の寄贈を受け、内海分署へ配置する。旧救急 2 号車は本署へ配置し予備車とする。
昭和 56 年	4 月	消防職員 1 名退職、消防職員 1 名採用、職員総数 6 7 名となる。
	9 月	救助用器材 (エアツールセット) 1 式を購入し、本署へ配置する。
昭和 57 年	3 月	消防ポンプ車 (いすゞ C D-I) 1 台を購入し、本署へ配置する。 旧消防ポンプ 1 号車は林野工作車に改造して本署へ配置する。 日本損害保険協会より、救急車 (日産キャラバン B-2) の寄贈を受け本署へ配置する。救急 3 号車は内海分署へ配置し救急予備車とする。
	4 月	消防職員 2 名採用、職員総数 6 9 名となる。
	5 月	救助用器材 (エアツールセット) 1 式を購入し、内海分署へ配置する。
	6 月	香川県共済農業協同組合連合会より救急車 (トヨタハイエース 2 B 型) の寄贈を受け、本署へ配置する。
	10 月	消防職員 1 名小豆島老人ホームへ、職員総数 6 8 名となる。
昭和 58 年	8 月	日本消防協会より、救助資器材搬送車 (日産アトラス) の寄贈を受け本署へ配置する。
昭和 59 年	3 月	消防署に設置の救急指令装置 (D-2 0 1 E) を更新する。 消防職員 1 名土庄町へ、消防職員 1 名退職、職員総数 6 6 名となる。
	4 月	消防職員 1 名採用、職員総数 6 7 名となる。
	8 月	救助用器材 (エアツールセット) 1 式を購入し、池田分署へ配置する。
	11 月	第 8 回婦人防火全国大会に於いて、日本防火協会より防火広報車 (日産キャラバン) の寄贈を受ける。

昭和 60 年 7 月	小型ポンプ（ラビット可搬式）を購入し、本署へ配置する。
9 月	日本損害保険協会より消防ポンプ車（日産サファリ A-I）の寄贈を受け、内海分署へ配置する。旧車は内海町へ移管する。
昭和 61 年 3 月	内海分署無線基地局老朽のため更新する。
	消防職員 1 名退職、職員総数 66 名となる。
4 月	消防職員 1 名採用、池田町より 1 名、職員総数 68 名となる。
8 月	8 月 28 日、香川県下に強風波浪注意報発令中、土庄町豊島地区において交通事故（車両衝突）が発生、車両が炎上し強風にあおられて林野に延焼し、火面は急速に拡大する。土庄町長、消防長の陣頭指揮により隣接消防団、自衛隊等の応援を求め消防職団員一致協力し、9 月 4 日 17 時 128 ha を焼失し、鎮火する。
	被害状況 焼損面積 128ha 損害額 7,550 万円
	死者 1 名 負傷者 7 名
	出動人員（延） 出動車両等（延）
	小豆地区消防本部 275 名 消防ポンプ自動車 77 台
	土庄町消防団 1,772 名 小型動力ポンプ付積載車 72 台
	池田町消防団（応援） 228 名 その他の車両 61 台
	内海町消防団（応援） 294 名 偵察用ヘリコプター 3 機
	高松市消防局（応援） 213 名 空中消火用ヘリコプター 8 機
	神戸市消防局（応援） 5 名
	陸上自衛隊（応援） 112 名
	合 計 2,899 名
10 月	異常渇水のため、全島において水不足となり水道が時間給水のため住民への火災予防啓発と出動体制の強化を図る。（62 年 2 月まで）
12 月	香川県消防相互応援協定締結 （香川県下 5 市、38 町、6 消防組合）
昭和 62 年 2 月	消防ポンプ自動車（三菱 C D-I）を購入し、池田分署へ配置する。
5 月	消防本部へ河川情報システムを設置し、運用を開始する。
6 月	査察広報車（日産ブルーバード）を購入、本署へ配置する。
昭和 63 年 4 月	消防職員 1 名採用、職員総数 69 名となる。
8 月	日本消防協会より防災工作車（トヨタハイエース）の寄贈を受け本署へ配置する。
11 月	消防本部へ管轄区域内の 119 番を統合し、運用を開始する。
12 月	高圧ポンプ付消防ポンプ自動車（三菱 C D-I）を購入し、本署へ配置する。
平成 元年 3 月	消防職員の高齢化対策として 2 名退職し、関係町で採用され、職員総数 67 名となる。
4 月	消防職員 3 名採用、職員総数 70 名となる。
5 月	消防職員 1 名管理者部局（小豆島老人ホーム）へ出向、職員総数 69 名となる。
9 月	防災工作車を 2 台購入、内海分署（トヨタトヨエース W キャブ）、池田分署（トヨタダイナ W キャブ）へそれぞれ配置する。
10 月	消防職員 1 名退職、職員総数 68 名となる。
平成 2 年 2 月	香川県共済農業協同組合連合会より救急車（トヨタハイエース 2 B 型）の寄贈を受け、内海分署へ配置し、旧車は廃車にする。
3 月	消防本部庁舎に非常電源装置を設置する。
	消防職員の高齢化対策として 1 名退職し、関係町で採用され、職員総数 67 名となる。
4 月	消防職員 2 名採用、1 名退職し、職員総数 68 名となる。

6 月	救助用機材（リフトバック）1 式を購入し、本署へ配置する。
12 月	指揮車（トヨタハイエースバン）を購入し、本署へ配置する。
平成 3 年 2 月	本署の林野工作車（4 9 年式日産 F H 6 0 型）を廃車にする。
3 月	消防職員の高齢化対策として 1 名退職し、関係町で採用され、職員総数 6 7 名となる。
4 月	消防職員 3 名採用、1 名管理者部局（小豆島老人ホーム）へ出向し、職員総数 6 9 名となる。
8 月	高圧ポンプ付消防ポンプ自動車（三菱 C D - I ）を購入し、内海分署へ配置する。
平成 4 年 3 月	日本自動車工業会より救急車（日産キャラバン 2 B 型）の寄贈を受け、本署へ配置し、1 号救急車は内海分署へ移管する。消防職員の高齢化対策として 1 名退職し、関係町で採用され、職員総数 6 8 名となる。
4 月	消防職員 2 名採用、職員総数 7 0 名となる。
平成 5 年 3 月	消防職員 1 名池田町へ、消防職員の高齢化対策として 1 名退職し、関係町で採用され、職員総数 6 8 名となる。
4 月	消防職員 2 名採用、1 名管理者部局（小豆島老人ホーム）へ出向し、職員総数 6 9 名となる。
10 月	日本消防協会より救急車（いすゞファエゴ 2 B 型）の寄贈を受け、内海分署へ配置する。
12 月	小型動力ポンプ付水槽車（三菱キャンター）を購入し、池田分署へ配置する。
平成 6 年 1 月	香川県防災ヘリコプター派遣職員に関する協定締結（香川県） 香川県防災航空隊へ職員 1 名派遣。
4 月	消防職員 2 名採用、職員総数 7 1 名となる。 香川県防災ヘリコプター応援協定締結
	（香川県、県下 5 市、3 8 町、6 消防組合）
5 月	エアーコンプレッサーを購入し、本署へ配置する。
11 月	はしご付消防自動車（森田式 M L E H 5 - 3 5 R 型）を購入し本署へ配置する。
平成 7 年 6 月	消防職員 1 名逝去、職員総数 7 0 名となる。
平成 8 年 3 月	基地局に県内共通波を設置する。
4 月	消防職員 2 名採用、1 名管理者部局（小豆島老人ホーム）から小豆地区消防本部に出向、2 名管理者部局（小豆島老人ホーム）へ出向し、職員総数 7 1 名となる。

4 月 9 日、香川県に乾燥注意報が発令中、土庄町では異常渇水のため、1 6 時間断水と厳しい水事情のなか、土庄町湊崎妹尾乙 2 5 7 番地より出火した山林火災は、急傾斜のため火面は急速に拡大し、管轄消防職員・団員はもとより隣接消防団、香川・大阪・広島・島根・京都の各消防防災ヘリ、自衛隊ヘリの応援を求め 4 月 1 2 日 9 時、4 7 h a を焼失し、鎮火する。

出動人員（延）

小豆地区消防本部	196 名
土 庄 町 消 防 団	1, 172 名
池 田 町 消 防 団	300 名
内 海 町 消 防 団	350 名
高 松 市 消 防 局	9 名
香川県防災航空隊	21 名
大阪市消防局航空隊	5 名
広島市消防航空隊	6 名
島根県防災航空隊	16 名
京都市消防航空隊	6 名

出動車両等（延）

消 防 ポ ン プ 自 動 車	49 台
小型動力ポンプ付積載車	109 台
自 衛 隊 車 両	33 台
そ の 他 の 車 両	73 台
消 防 防 災 ヘ リ	7 機
自 衛 隊 ヘ リ	9 機

		陸上自衛隊	161名		
		合 計	2,242名		
平成9年	3月	日本消防協会から救急車（日産キャラバン2B型）の寄贈を受け、内海分署へ配置する。			
	4月	香川県防災航空隊へ職員1名交替派遣。			
	10月	高規格救急車（トヨタグランビア）を購入し、本署へ配置する。			
平成10年	10月	日本損害保険協会より水槽付ポンプ自動車（三菱ファイター）の寄贈を受け本署へ配置する。			
平成11年	2月	携帯電話等からの119番通報転送等に関する協定締結。 （高松市消防局、大川広域消防本部、讃岐広域消防本部）			
		携帯電話119番転送システムを設置する。			
		2月14日、土庄町湊崎字東丸山甲1665番地3より出火した山林火災は、急斜面の地形により延焼拡大し3日間燃え続け、消防職員・3町消防団の消火活動に加え、香川・高知・愛媛・兵庫・広島・鳥取の各消防防災ヘリ、自衛隊ヘリの応援により、13haを焼失し、16日8時40分鎮火する。			
		出動人員（延）		出動車両（延）	
		小豆地区消防本部	145名	消防ポンプ自動車	35台
		土庄町消防団	717名	小型動力ポンプ付積載車	87台
		池田町消防団	110名	自衛隊車両	6台
		内海町消防団	100名	その他の車両	25台
		香川県防災航空隊	9名	消防防災ヘリ	8機
		高知県消防防災航空隊	16名	自衛隊ヘリ	8機
		愛媛県消防防災航空隊	13名		
		兵庫県消防防災航空隊	14名		
		広島県防災航空隊	6名		
		鳥取県消防防災航空隊	7名		
		陸上自衛隊	121名		
		土庄警察署	55名		
		土庄町職員	24名		
		合 計	1,337名		
	4月	香川県防災航空隊へ職員1名交替派遣。			
平成12年	3月	消防本部2階へ通信指令室を設け、消防緊急通信指令システムを更新整備する。			
	10月	小豆島防火協会より防火広報車（軽四輪）の寄贈を受け、本署へ配置する。			
平成13年	3月	消防職員1名退職。職員総数70名となる。			
	4月	消防職員1名採用。職員総数71名となる。			
平成14年	1月	消防職員1名退職。職員総数70名となる。			
	3月	消防職員1名退職、職員総数69名となる。			
	4月	消防職員2名採用、職員総数71名となる。			
		香川県防災航空隊へ職員1名交替派遣。			
平成15年	3月	消防職員1名退職、職員総数70名となる。			
		日本損害保険協会より、高規格救急車（トヨタハイメディック）の寄贈を受け、内海分署へ配置する。			
	4月	消防職員3名採用、職員総数73名となる。			
	10月	消防職員1名逝去、職員総数72名となる。			
平成16年	3月	消防職員1名退職、職員総数71名となる。			
		救助工作車（日野レンジャープロ）を購入し、本署へ配置する。			
	8月	台風16号による高潮被害。			
		内海町 床上浸水	176戸	床下浸水	350戸

	土庄町 床上浸水 523 戸	床下浸水 523 戸
	池田町 床上浸水 49 戸	床下浸水 160 戸
	合 計 床上浸水 748 戸	床下浸水 1,033 戸
平成 17 年 3 月	消防職員 1 名退職、職員総数 70 名となる。	
	消防ポンプ自動車（日野 C D - I）を購入し、内海分署へ配置する。	
4 月	消防職員 1 名採用、職員総数 71 名となる。	
	香川県防災航空隊へ職員 1 名交替派遣。	
平成 18 年 3 月	内海町、池田町（2 町）が合併し、小豆島町となる。	
	消防職員 5 名退職（勸奨）、職員総数 66 名となる。	
	消防ポンプ自動車（三菱 C D - I）を購入し、池田分署へ配置する。	
4 月	消防職員 5 名採用、職員総数 71 名となる。	
8 月	消防職員 1 名退職、職員総数 70 名となる。	
平成 19 年 3 月	消防職員 1 名退職（勸奨）、職員総数 69 名となる。	
4 月	消防職員 2 名採用、職員総数 71 名となる。	
平成 20 年 1 月	高規格救急車（トヨタハイメディック）を購入し、本署へ配置する。	
3 月	消防職員 5 名退職（内 3 名勸奨）、職員総数 66 名となる。	
4 月	消防職員 3 名採用、職員総数 69 名となる。	
	香川県防災航空隊へ職員 1 名交替派遣。	
平成 21 年 3 月	消防職員 7 名退職（内 4 名勸奨）、職員総数 62 名となる。	
4 月	消防職員 7 名採用、職員総数 69 名となる。	
12 月	日本損害保険協会より、高規格救急車（トヨタハイメディック）の寄贈を受け内海分署へ配置する。	
平成 22 年 3 月	消防職員 2 名退職（勸奨）、職員総数 67 名となる。	
4 月	消防職員 2 名採用、職員総数 69 名となる。	
平成 23 年 3 月	消防職員 3 名退職（内 2 名勸奨）、職員総数 66 名となる。	
4 月	消防職員 3 名採用、職員総数 69 名となる。	
	香川県防災航空隊へ職員 1 名交替派遣。	
平成 24 年 2 月	消防ポンプ自動車（日野 C D - I）を購入し、本署へ配置する。	
3 月	消防職員 3 名退職、職員総数 66 名となる。	
4 月	消防職員 3 名採用、職員総数 69 名となる。	
12 月	指揮車（トヨタヴォクシー）を購入し本部へ配置する。	
平成 25 年 3 月	消防職員 6 名退職（内 3 名勸奨）、職員総数 63 名となる。	
4 月	消防職員 6 名採用、職員総数 69 名となる。	
平成 26 年 2 月	消防ポンプ自動車（日野 C D - 1）を購入し、内海分署へ配置する。	
3 月	消防職員 1 名退職（勸奨）、職員総数 68 名となる。	
4 月	消防職員 1 名採用、職員総数 69 名となる。	
	香川県防災航空隊へ職員 1 名交替派遣。	
8 月	消防救急デジタル無線及び消防指令センター整備工事に着手する。	
9 月	小豆地区消防本部兼小豆島西消防署、小豆島東消防署の建設工事に着手する。	
12 月	高規格救急車（トヨタハイメディック）を購入し、本署へ配置する。	
平成 27 年 3 月	消防職員 2 名退職、職員総数 67 名となる。	
4 月	消防職員 2 名採用、職員総数 69 名となる。	
10 月	小豆島防火安全協会より防火広報車（軽四輪）の寄贈を受け、本署へ配置する。	
平成 28 年 3 月	小豆地区消防本部兼小豆島西消防署、小豆島東消防署落成する。	
	消防救急デジタル無線及び消防指令センター落成する。	
	池田分署の業務を終了する。	
	消防職員 1 名退職、職員総数 68 名となる。	
4 月	組織改編に伴い 2 署体制へ移行、業務を開始する。	

	消防職員 1 名採用、職員総数 6 9 名となる。
7 月	消防職員 1 名退職、職員総数 6 8 名となる。
8 月	査察広報車（軽四輪）を購入し、東署へ配置する。
12 月	池田港飛行場外離着陸場の整備工事に着手する。
平成 29 年 3 月	池田港飛行場外離着陸場竣工する。
	消防職員 1 名退職、職員総数 6 7 名となる。
4 月	消防職員 3 名採用、再任用 1 名、職員総数 7 1 名となる。
	香川県防災航空隊へ職員 1 名交替派遣。
12 月	小型動力ポンプ付水槽車（日野デュトロ）を購入し、西署へ配置する。
平成 30 年 2 月	消防職員 2 名退職、職員総数 6 9 名となる。
3 月	消防職員 1 名退職、再任用 1 名退職、職員総数 6 7 名となる。
4 月	消防職員 1 名採用、職員総数 6 8 名となる。
10 月	先端屈折式はしご車（ML L A H 5 - 3 0 W G）を購入し、西署へ配置する。
平成 31 年 3 月	大規模災害時における消防用水等に関する協定締結（県下 9 消防本部、香川県生コンクリート協同組合連合会）
4 月	消防職員 3 名採用、1 名管理者部局（広域事務局）へ部局内異動、職員総数 7 0 名となる。
令和 2 年 3 月	消防職員 3 名退職、職員総数 6 7 名となる。
令和 2 年 4 月	消防職員 2 名採用、職員総数 6 9 名となる。
	香川県防災航空隊へ職員 1 名交替派遣。
令和 3 年 1 月	高規格救急車（トヨタハイメディック）を購入し、東署へ配置する。
4 月	消防職員 1 名採用、職員総数 7 0 名となる。

5. 主たる総務行事（令和2年）

1月22日	第3回香川県ドクターヘリ導入検討委員会	(高松市)
1月22日～2月19日	地震学講座Ⅱ（自治体職員向け地震学講座）	
1月28日～29日	香川県消防協会消防団長等研修	(広島県)
1月30日	小豆島町人権・同和教育指導者養成講座	
2月12日	消防団長等幹部研修会	(高松市)
2月20日	臨時香川県消防長会議	(高松市)
3月3日	小豆地区広域行政事務組合議会定例会	
4月6日	消防職員初任教育（第67期）入校式	(高松市)
4月10日	第1回香川県消防長会議	(仲多度郡)
4月12日	小豆地区消防連合会定期総会及び定例表彰式	
4月	全国消防長会四国支部消防職員意見発表会及び総会	(書面会議)
5月29日	小豆地区広域行政事務組合議会臨時会	
5月	小豆安全運転管理者協議会総会	(書面会議)
6月	第72回全国消防長会総会	(書面会議)
6月	香川県消防協会定時評議員会	(書面会議)
7月8日	香川県消防学校教育推進協議会（第1回）	(高松市)
7月14日	小豆島中央高等学校進路ガイダンス	
8月6日	小豆郡医療懇談会	
8月20日	第1回香川県ドクターヘリ運航調整委員会	(高松市)
8月27日	小豆地区消防本部消防職員委員会	
8月30日	香川県総合防災訓練	(高松市)
9月19日	消防職員初任教育生消防実技訓練発表会	(高松市)
9月30日	消防職員初任教育（第67期）卒業式	(高松市)
10月2日	小豆地区広域行政事務組合議会定例会	
10月28日	香川県消防学校教育推進協議会（第2回）	(高松市)
10月29日	消防功労者定例表彰式	(高松市)
11月13日	香川県総合防災対策特別委員会	(高松市)
11月18日	臨時香川県消防長会議	(高松市)
11月27日	香川県緊急消防援助隊受援訓練に伴う実働訓練視察	(高松市)
11月30日	小豆地区広域行政事務組合議会臨時会	
11月	第2回香川県消防長会議	(書面会議)
11月	香川県消防職員意見発表会	(動画審査)
12月22日	香川県消防長会消防職員ハラスメント幹部研修会	(高松市)
12月25日	小豆地区広域行政事務組合議会定例会	

6. 歴代管理者

令和3年4月1日現在

年 代	氏 名	期 間	勤 務 年 数	
初 代	川 北 四 十 二	自 昭47. 4. 1 至 昭53. 3. 31	6年	0月
二 代	山 脇 利 一	自 昭53. 4. 1 至 昭55. 7. 31	2年	4月
一部事務組合を統合、新たに小豆地区広域行政事務組合発足				
三 代	川 北 四 十 二	自 昭55. 8. 1 至 昭56. 2. 11	0年	6月
四 代	山 脇 利 一	自 昭56. 2. 12 至 昭58. 3. 31	2年	1月
五 代	佐々木 武 雄	自 昭58. 4. 1 至 昭59. 4. 18	1年	0月
六 代	八 木 壮 一 郎	自 昭59. 4. 19 至 昭60. 3. 31	1年	0月
七 代	川 西 寿 一	自 昭60. 4. 1 至 昭62. 3. 31	2年	0月
八 代	山 脇 利 一	自 昭62. 4. 1 至 平 元. 3. 31	2年	0月
九 代	八 木 壮 一 郎	自 平 元. 4. 1 至 平 3. 3. 31	2年	0月
十 代	川 西 寿 一	自 平 3. 4. 1 至 平 5. 3. 31	2年	0月
十一代	塩 本 淳 平	自 平 5. 4. 1 至 平 7. 3. 31	2年	0月
十二代	八 木 壮 一 郎	自 平 7. 4. 1 至 平 9. 3. 31	2年	0月
十三代	川 西 寿 一	自 平 9. 4. 1 至 平 9. 5. 4	年	1月
十四代	坂 下 一 朗	自 平 9. 5. 5 至 平11. 3. 31	1年	11月
十五代	塩 本 淳 平	自 平11. 4. 1 至 平13. 3. 31	2年	0月
十六代	八 木 壮 一 郎	自 平13. 4. 1 至 平15. 3. 31	2年	0月
十七代	坂 下 一 朗	自 平15. 4. 1 至 平17. 3. 31	2年	0月
十八代	三 木 佑 二 郎	自 平17. 4. 1 至 平18. 1. 21	0年	9月
十九代	岡 田 好 平	自 平18. 1. 22 至 平19. 3. 31	1年	3月
二十代	坂 下 一 朗	自 平19. 4. 1 至 平21. 3. 31	2年	0月

二十一代	岡 田 好 平	自 平2 1. 4. 1 至 平2 3. 3. 3 1	2年	0月
二十二代	塩 田 幸 雄	自 平2 3. 4. 1 至 平2 5. 3. 3 1	2年	0月
二十三代	岡 田 好 平	自 平2 5. 4. 1 至 平2 6. 1. 2 1	0年	9月
二十四代	三 枝 邦 彦	自 平2 6. 1. 2 2 至 平2 7. 3. 3 1	1年	3月
二十五代	塩 田 幸 雄	自 平2 7. 4. 1 至 平2 9. 3. 3 1	2年	0月
二十六代	三 枝 邦 彦	自 平2 9. 4. 1 至 平3 1. 3. 3 1	2年	0月
二十七代	松 本 篤	自 平3 1. 4. 1 至 令 3. 3. 3 1	2年	0月
二十八代	三 枝 邦 彦	自 令 3. 4. 1 至 現 在		

7. 歴代消防長

令和3年4月1日現在

年 代	氏 名	期 間	勤 務 年 数	
初 代	清 水 勝	自 昭4 7. 4. 1 至 昭5 0. 3. 3 1	3年	0月
二 代	坂 本 傳	自 昭5 0. 6. 1 至 昭5 2. 5. 3 1	2年	0月
三 代	(消防長事務取扱) 川 北 四 十 二	自 昭5 2. 6. 1 至 昭5 3. 3. 3 1	年	1 0月
四 代	洲 本 勝	(消防長職務代理) 自 昭5 3. 4. 1 至 昭5 5. 3. 3 1		
		自 昭5 5. 4. 1 至 昭5 9. 3. 3 1	4年	0月
五 代	谷 元 哲 彦	自 昭5 9. 4. 1 至 昭6 1. 3. 3 1	2年	0月
六 代	(消防長事務取扱) 八 木 壮 一 郎	自 昭6 1. 4. 1 至 昭6 3. 3. 3 1	2年	0月
七 代	大 谷 隆 生	自 昭6 3. 4. 1 至 平 5. 3. 3 1	5年	0月
八 代	中 黒 輝 雄	自 平 5. 4. 1 至 平 7. 6. 6	2年	2月

九 代	前 田 忠	自 平 7. 7. 1 至 平 1 5. 3. 3 1	7 年	9 月
十 代	(消防長事務取扱) 三 木 佑 二 郎	自 平 1 5. 4. 1 至 平 1 7. 3. 3 1	2 年	0 月
十 一 代	佐 渡 達 夫	自 平 1 7. 4. 1 至 平 2 0. 3. 3 1	3 年	0 月
十 二 代	浜 岡 成 俊	自 平 2 0. 4. 1 至 平 2 1. 3. 3 1	1 年	0 月
十 三 代	(消防長事務取扱) 坂 下 一 朗	自 平 2 1. 4. 1 至 平 2 2. 4. 2 2	1 年	1 月
十 四 代	(消防長事務取扱) 岡 田 好 平	自 平 2 2. 4. 2 3 至 平 2 3. 3. 3 1		1 1 月
十 五 代	真 砂 清	自 平 2 3. 4. 1 至 平 2 5. 3. 3 1	2 年	0 月
十 六 代	石 塚 昭 義	自 平 2 5. 4. 1 至 平 2 9. 3. 3 1	4 年	0 月
十 七 代	上 濱 一 弥	自 平 2 9. 4. 1 至 平 3 0. 3. 3 1	1 年	0 月
十 八 代	須 佐 美 高 広	自 平 3 0. 4. 1 至 令 2. 3. 3 1	2 年	0 月
十 九 代	八 木 勝 則	自 令 2. 4. 1 至 現 在	1 年	0 月

8.歴代消防署長

令和 3 年 4 月 1 日現在

年 代	氏 名	期 間	勤 務 年 数	
初 代	清 水 勝	自 昭 4 7. 4. 1 至 昭 4 9. 3. 3 1	2 年	0 月
二 代	役 重 正 則	自 昭 4 9. 4. 1 至 昭 5 6. 4. 1 4	7 年	1 月
三 代	谷 元 哲 彦	自 昭 5 6. 5. 1 至 昭 6 1. 3. 3 1	4 年	1 1 月
四 代	中 黒 輝 雄	自 昭 6 1. 4. 1 至 平 5. 3. 3 1	7 年	0 月
五 代	前 田 忠	自 平 5. 4. 1 至 平 8. 3. 3 1	3 年	0 月
六 代	木 村 敏 夫	自 平 8. 4. 1 至 平 1 4. 3. 1	6 年	0 月
七 代	森 三 郎	自 平 1 4. 4. 1 至 平 1 5. 1 1. 3 0	1 年	8 月
八 代	佐 渡 達 夫	自 平 1 5. 1 2. 1 至 平 1 6. 3. 3 1		4 月
九 代	浜 岡 成 俊	自 平 1 6. 4. 1 至 平 1 7. 3. 3 1	1 年	0 月

十 代	中 川 博 行	自 平17. 4. 1 至 平20. 3. 31	3年	0月
十 一 代	森 川 誠 三	自 平20. 4. 1 至 平21. 3. 31	1年	0月
十 二 代	真 砂 清	自 平21. 4. 1 至 平23. 3. 31	2年	0月
十 三 代	浜 脇 繁 美	自 平23. 4. 1 至 平24. 3. 31	1年	0月
十 四 代	石 塚 昭 義	自 平24. 4. 1 至 平25. 3. 31	1年	0月
十 五 代	須 佐 美 高 広	自 平25. 4. 1 至 平28. 3. 31	3年	0月

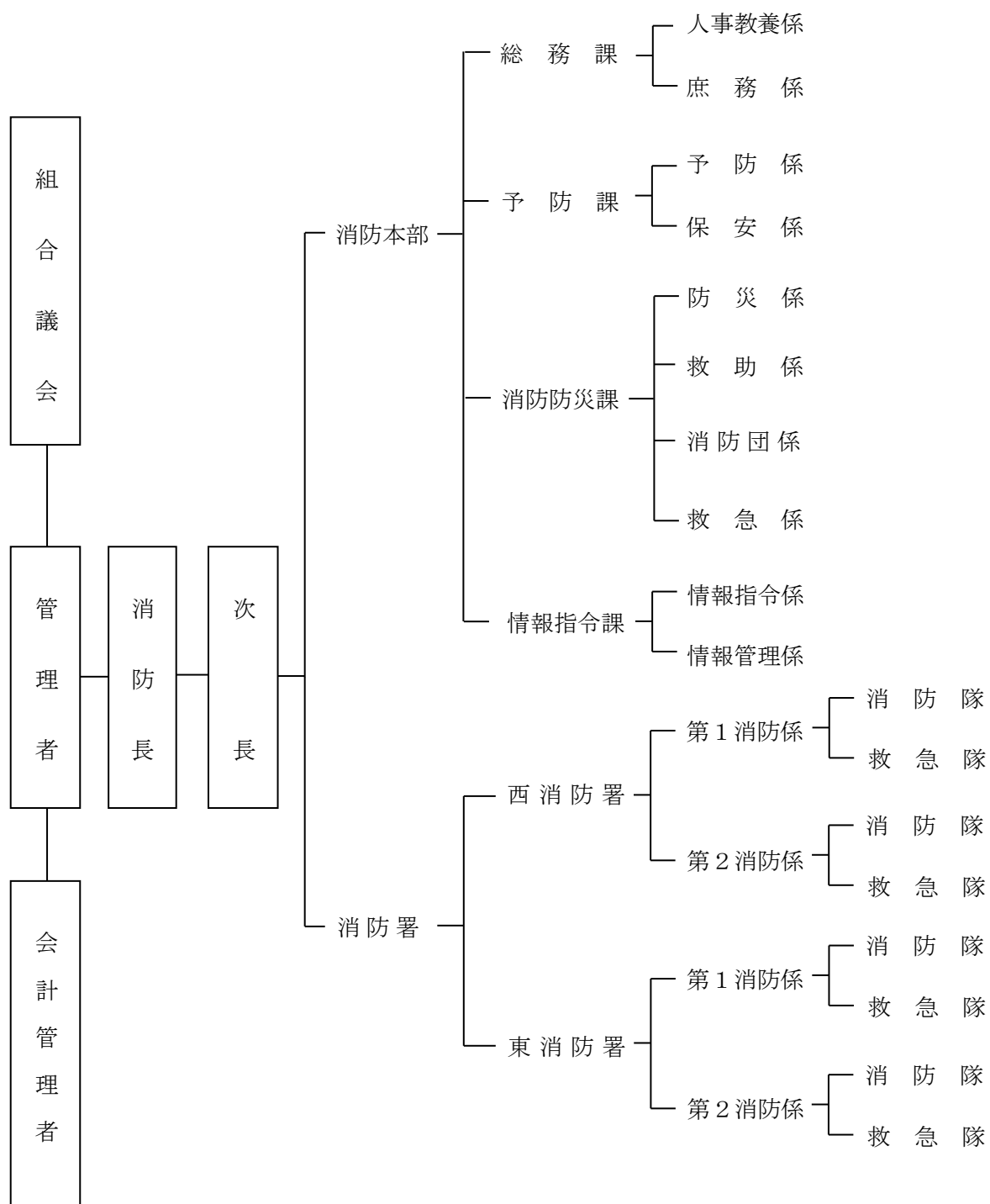
歴代西消防署長

年 代	氏 名	期 間	勤 務 年 数	
初 代	須 佐 美 高 広	自 平28. 4. 1 至 平30. 3. 31	2年	0月
二 代	青 地 薫	自 平30. 4. 1 至 令 3. 3. 31	3年	0月
三 代	田 村 桂 一	自 令 3. 4. 1 至 現 在		

歴代東消防署長

年 代	氏 名	期 間	勤 務 年 数	
初 代	木 下 昌 樹	自 平28. 4. 1 至 平31. 3. 31	3年	0月
二 代	炭 野 義 一	自 平31. 4. 1 至 現 在	2年	0月

9. 消防の組織・機構



10. 事 務 分 掌

総 務 課

人事教養係

- (1) 職員の任用、服務及び賞罰に関する事項
- (2) 職員の給与に関する事項
- (3) 職員の公務災害補償に関する事項
- (4) 職員の研修及び能率増進に関する事項
- (5) 行政不服審査及び訴訟に関する事項
- (6) 消防長の秘書及び儀式用務に関する事項
- (7) 消防協力者等の災害補償及び表彰に関する事項

庶 務 係

- (1) 公文書の收受及び発送に関する事項
- (2) 完結文書の整理保管に関する事項
- (3) 公印の保管に関する事項
- (4) 規程等の審査に関する事項
- (5) 消防年報に関する事項
- (6) 財産の管理に関する事項
- (7) 消防職員委員会に関する事項
- (8) 各課の総合調整に関する事項
- (9) 他課、係の所管に属さない事項

予 防 課

予 防 係

- (1) 火災予防の指導に関する事項
- (2) 建築確認等の同意に関する事項
- (3) 防火対象物の消防計画の作成及び訓練の指導に関する事項
- (4) 消防用設備等の設置に関する事項
- (5) 防火対象物の違反処理に関する事項
- (6) 火災の原因及び損害の調査・報告に関する事項
- (7) 火気使用設備等の指導に関する事項
- (8) 消防広報及び広聴に関する事項
- (9) 自主防火・防災組織の育成指導に関する事項
- (10) 防火管理者の育成指導に関する事項
- (11) 防火対象物定期点検報告制度に関する事項
- (12) 前各号のほか、予防業務に関する事項

保 安 係

- (1) 危険物製造所等の許可及び検査に関する事項
- (2) 危険物製造所等の指導取締りに関する事項
- (3) 液化石油ガス設備工事届等に関する事項
- (4) その他危険物関係の指導に関する事項

消 防 防 災 課

防 災 係

- (1) 防災計画に関する事項
- (2) 防災対策に関する事項
- (3) 防災演習に関する事項
- (4) 消防機材の配置及び管理に関する事項
- (5) 各町の地域防災計画に関する事項
- (6) 消防水利に関する事項
- (7) 災害報告に関する事項
- (8) 前各号のほか、防災業務に関する事項

救 助 係

- (1) 救助計画に関する事項
- (2) 前号のほか、救助業務に関する事項

消 防 団 係

- (1) 消防団計画に関する事項
- (2) 前号のほか、消防団業務に関する事項

救 急 係

- (1) 救急計画に関する事項
- (2) 救急運用に関する事項
- (3) 救急資機材の配置及び管理に関する事項
- (4) 救急、救助年報に関する事項
- (5) 前各号のほか、救急業務に関する事項

情 報 指 令 課

情報指令係

- (1) 通信指令に関する事項
- (2) 前号のほか、情報指令に関する事項

情報管理係

- (1) 個人情報管理に関する事項
- (2) 前号のほか、情報管理に関する事項

1 1. 管内面積及び人口・世帯数

令和3年4月1日現在

区 分 町 別	面 積 (km ²)	人 口			世 帯 数 (世帯)
		男 (人)	女 (人)	計 (人)	
土 庄 町	74.38	6,339	7,034	13,373	6,606
小 豆 島 町	95.59	6,719	7,388	14,107	6,918
合 計	169.97	13,058	14,422	27,480	13,524

(住民基本台帳による)

1 2. 消防庁舎の現状

区 分 署所別	所 在 地	構 造	建築延面積	竣工年月日
消防本部 兼西消防署	香川県小豆郡土庄町 甲 557 番地 10	鉄筋コンクリート 4 階 建	2,482.3 m ²	H27. 12. 28
東消防署	香川県小豆郡小豆島町 安田甲 144 番地 90	鉄筋コンクリート 4 階 建	951.9 m ²	H27. 12. 28

1 3. 職員の勤務年数

令和 3 年 4 月 1 日現在

階 級 別 年 数	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
1 年 未 満						1	1
1 年 ～ 2 年未満						2	2
2 年 ～ 3 年未満						3	3
3 年 ～ 4 年未満						1	1
4 年 ～ 5 年未満						3	3
5 年 ～ 1 0 年未満					9	3	1 2
1 0 年 ～ 1 5 年未満				7	8		1 5
1 5 年 ～ 2 0 年未満			2	8			1 0
2 0 年 ～ 2 5 年未満							
2 5 年 ～ 3 0 年未満		1	6				7
3 0 年 以 上	1	9	6				1 6
合 計	1	1 0	1 4	1 5	1 7	1 3	7 0
平 均	41.0	35.5	27.4	14.3	9.6	3.1	17.1

14. 職員の年齢

令和3年4月1日現在

階級別 年数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
18才～20才						2	2
21才～25才						7	7
26才～30才					7	4	11
31才～35才				7	10		17
36才～40才				8			8
41才～45才			5				5
46才～50才			9				9
51才～55才		6					6
56才～60才	1	4					5
合計	1	10	14	15	17	13	70
平均年齢	59.0	55.3	46.4	35.8	30.2	24.0	37.5

15. 職員の配置状況

令和3年4月1日現在

階級別 署所別	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
消防本部	1	7	8	9	8	7	40
西消防署		1(3)	(7)	(8)	(8)	(6)	1(32)
東消防署		2	6	5	9	6	28
県防災航空隊				1			1
合計	1	10	14	15	17	13	70

(※ () 内は兼務)

16. 消防力の現勢

令和3年4月1日現在

署所・人員

	現 有 数
署 所 数	2
指 揮 隊 員	6
消 防 隊 員	32
救 急 隊 員	20
救 助 隊 員	0 (兼務22)
通 信 要 員	5
予 防 要 員	3 (兼務15)
庶務処理等の要員	4

車両

		現 有 数
消 防 ポ ン プ 自 動 車		4
は し ご 自 動 車		1
救助工作車（省令第4条）		1
高 規 格 救 急 車		4
特 殊 車 等	指 揮 車	1
	査 察 広 報 車	2
	小型ポンプ付水槽車	1
	そ の 他 の 車 両	3

	基 準 数	現 有 数	充 足 率
消 防 水 利	898	454	50.6

17. 消防職員・消防車等に対する人口及び世帯数の割合

令和3年4月1日現在

区 分 種 別	人 口 (人)	世 帯 数 (世帯)	面 積 (k m ²)
消 防 職 員 1 人 当 り	393	193	2.43
消防ポンプ自動車1台当り	6,870	3,381	42.49
救 急 車 1 台 当 り	6,870	3,381	42.49
署 1 ケ 所 当 り	13,740	6,762	84.99

18. 消防予算

(1) 歳入

(単位：千円)

区 分	令和2年度予算額	令和3年度予算額
1. 分担金及び負担金	737,933	737,189
2. 使用料及び手数料	100	100
3. 国庫支出金	12,833	0
4. 県支出金	0	0
5. 財産収入	0	0
6. 寄付金	0	0
7. 繰越金	0	0
8. 諸収入	0	0
9. 組合債	0	0
合 計	750,866	737,289

(2) 歳出

(単位：千円)

区 分	令和2年度予算額	令和3年度予算額
1. 総務費	534,261	535,563
2. 予防費	1,202	1,138
3. 警防費	7,195	8,722
4. 救急費	5,317	5,595
5. 通信費	20,191	23,638
6. 施設費	34,648	0
7. 公債費	148,052	162,633
合 計	750,866	737,289

19. 令和3年度町別一般会計予算と消防予算

(単位：千円)

区 分	土 庄 町	小豆島町	合 計
一 般 会 計 予 算 額	9,794,000	9,497,000	19,291,000
消 防 費 予 算 額			
計	414,565	464,074	878,639
常 備 消 防 費	334,791	402,398	737,189
非 常 備 消 防 費	75,741	33,763	109,504
消 防 施 設 費	0	26,519	26,519
水 防 費	1,011	1,391	2,402
災 害 対 策 費	3,022	3	3,025
一 般 会 計 と 消 防 費 の 比 (%)	4.2	4.9	4.6
住 民 1 人 当 り の 消 防 費 用 (円)	31,000	32,897	31,949
一 世 帯 当 た り の 消 防 費 用 (円)	62,756	67,082	64,919

20. 消防費基準財政需要額及び町負担金（予算額）

(単位：千円)

町 別	令和2年度 消防費基準財政需要額	令和3年度 町負担金
土 庄 町	250,606	334,791
小 豆 島 町	306,489	402,398
合 計	557,095	737,189

2 1 . 職員特殊技能資格取得状況

令和3年4月1日現在

種 別 \ 階 級 別		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
自動車 運転 免 許	大 型		4	8	14	11	1	38
	中型（11t未満）					1		1
	中型（8t限定）	1	6	6	1	3		17
	準中型（7.5t未満）					2	3	5
	準中型（5t限定）						9	9
	普 通							
クレーン・玉掛け・巻き上げ機 （クレーン・玉掛け）			(3)	6 (2)	8	2		16 (5)
消防用設備点検資格者 第1種・第2種				1				1
消防設備士許 免			2	3	7	5		17
危険物取扱者許 免			2	7	13	14	4	40
予防技術検定			1	6	6	9		22
第2級陸上特殊士 無線技			5	11	9	3		28
第3級陸上特殊士 無線技			1	1				2
第4級アマチュア 無線技士								
小型船舶操縦士 2級免			7	6	5	2		20
救急救命士		1	4	5	5	2	6	23
応急手当 指導員		1	9	13	15	16	7	61
石油機器技術管理士			1	1				2
第Ⅱ種酸素欠乏 危険作業主任者			2	9	10	12		33
潜水士			2	4	5	2	1	14
特定化学物質等 作業者			1	1				2

2 2. 職員教養状況調

令和3年4月1日現在

階 級 別 区 分		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
消 防 大 学 校	幹 部 科		2					2
	上 級 幹 部 科	1						1
	救 助 科			1				1
	予 防 科			1				1
	火 災 調 査 科				1			1
香 川 県 消 防 学 校	初 任 教 育	1	1 0	1 4	1 5	1 7	1 3	7 0
	初 級 幹 部 科		1	4	1			6
	中 級 幹 部 科		3					3
	上 級 幹 部 科		2					2
	予 防 査 察 科	1	5	3	4	3		1 6
	危 険 物 科			3	2	2		7
	火 災 調 査 科		2	5	5	2		1 4
	特 殊 災 害 科		3	4	4			1 1
	警 防 科			7	4	2		1 3
	救 急 科		8	1 4	1 5	1 6	3	5 6
	救 助 科		1	8	1 0	1 2		3 1
そ の 他	救 急 救 命 士	1	4	5	5	2	6	2 3

2 3. 職員居住地調

令和3年4月1日現在

階 級 別 区 分		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
土 庄 町			5	8	9	7	9	3 8
小 豆 島 町		1	5	6	5	1 0	4	3 1
合 計		1	1 0	1 4	1 4	1 7	1 3	6 9

24. 職員任用退職状況調

令和3年4月1日現在

年 度	区 分	新 任	退 職	転 入 出		職 員 総 数
				入	出	
平成 3 年		3	2		1	6 9
平成 4 年		2	1			7 0
平成 5 年		2	2		1	6 9
平成 6 年		2				7 1
平成 7 年						7 1
平成 8 年		2	1	1	2	7 1
平成 9 年						7 1
平成 1 0 年						7 1
平成 1 1 年						7 1
平成 1 2 年						7 1
平成 1 3 年		1	1			7 1
平成 1 4 年		2	2			7 1
平成 1 5 年		3	1			7 3
平成 1 6 年			2			7 1
平成 1 7 年		1	1			7 1
平成 1 8 年		5	5			7 1
平成 1 9 年		2	2			7 1
平成 2 0 年		3	5			6 9
平成 2 1 年		7	7			6 9
平成 2 2 年		2	2			6 9
平成 2 3 年		3	3			6 9
平成 2 4 年		3	3			6 9
平成 2 5 年		6	6			6 9
平成 2 6 年		1	1			6 9
平成 2 7 年		2	2			6 9
平成 2 8 年		1	1			6 9
平成 2 9 年		3	2	1(再任用)		7 1
平成 3 0 年		1	3		1(再任用)	6 8
平成 3 1 年		3	0		1(部局内異動)	7 0
令和 2 年		2	3			6 9
令和 3 年		1				7 0

25. 職員の推移

令和3年4月1日現在

階級別 年度別	消防 監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防 士	再 任用	合 計
平成4年	1	2	4	14	28	10	11		70
平成5年	1	2	3	18	26	9	10		69
平成6年	1	2	3	18	26	9	12		71
平成7年	1	2	4	19	26	8	11		71
平成8年	1	4	3	17	25	11	10		71
平成9年	1	4	3	22	22	11	8		71
平成10年	1	4	3	27	18	13	5		71
平成11年	1	4	3	28	19	12	4		71
平成12年	1	5	4	30	16	12	3		71
平成13年	1	4	4	32	15	12	3		71
平成14年	1	3	5	32	15	11	4		71
平成15年		3	9	29	15	12	5		73
平成16年		2	9	29	17	9	5		71
平成17年	1	2	8	30	16	8	6		71
平成18年	1	5	3	29	17	5	11		71
平成19年	1	5	6	27	15	6	11		71
平成20年	1	3	7	25	14	7	12		69
平成21年		2	5	23	14	6	19		69
平成22年		2	9	21	10	7	20		69
平成23年		1	13	15	12	6	22		69
平成24年		1	13	15	11	9	20		69
平成25年		1	7	15	11	10	25		69
平成26年		1	8	14	12	9	25		69
平成27年		1	9	14	9	14	22		69
平成28年		1	8	16	8	19	17		69
平成29年		1	9	15	9	18	18	1	71
平成30年		1	9	14	13	17	14		68
平成31年		1	11	13	16	13	16		70
令和2年		1	9	13	16	18	12		69
令和3年		1	10	14	15	17	13		70

防 予



1. 主たる予防行事（令和2年）

1月22日～30日	重要文化財の予防査察	
3月 1日～ 7日	春季全国火災予防運動	
5月～9月	防火対象物定期点検報告制度に基づく立入検査	
5月	令和2年度小豆島防火安全協会役員会	（書面会議）
6月 7日～13日	危険物安全週間	
6月	令和2年度香川県危険物安全大会	（書面会議）
6月	令和2年度小豆島防火安全協会定時総会	（書面会議）
6月	令和2年度小豆地区婦人防火クラブ連絡協議会総会	（書面会議）
	令和2年度小豆地区少年婦人防火委員会	（書面会議）
8月 5日	危険物取扱者保安講習	
9月	令和2年度県下予防事務担当者会議	（書面会議）
10月17日～11月24日	移動タンク貯蔵所立入検査	
11月 9日～15日	秋季全国火災予防運動	

2. 「防火優良認定証」交付対象物状況

令和3年4月1日現在

区 分 用 途	定期点検報告制度 対 象 物 数	防 火 優 良 認 定 証 交 付 対 象 物 数	交付率（%）
旅館・ホテル等	32	22	68.7

3. 自主防災組織の現況

令和3年6月1日現在

- 小豆島防火安全協会（会員数256事業所）
- 小豆地区少年婦人防火委員会 ———— 各地区少年消防クラブ
- 小豆地区婦人防火クラブ連絡協議会 ———— 各地区婦人防火（消防）クラブ
- 小豆地区婦人防火クラブ連絡協議会 ———— 各地区婦人防火（消防）クラブ

少年消防クラブ（５クラブ １８２名）

令和３年６月１日現在

ク ラ ブ の 名 称	結 成 年 月 日	クラブ員数	組織単位	行政区
安 田 少年消防クラブ	昭和２６年１２月 ８日	９７名	地 区	小豆島町
坂 手 〃	昭和２８年 ５月 ５日	１６名	〃	〃
鹿 島 〃	昭和５４年１２月 ３日	１５名	〃	土 庄 町
橘 〃	昭和５５年 ５月３０日	２０名	〃	小豆島町
大木戸 〃	昭和５７年 ４月 １日	３４名	〃	土 庄 町

婦人防火クラブ、婦人消防クラブ（１４クラブ ８３８名）

令和３年６月１日現在

ク ラ ブ の 名 称	結 成 年 月 日	クラブ員数	組織単位	行政区
苗 羽 婦人防火クラブ	昭和２０年１０月１０日	９０名	地 区	小豆島町
坂 手 〃	昭和２２年 ４月 １日	６０名	〃	〃
草 壁 〃	昭和２３年 ４月 １日	９７名	〃	〃
福 田 〃	昭和２４年 ４月 １日	休 止	〃	〃
安 田 〃	昭和２４年 ７月１１日	４４名	〃	〃
西 村 〃	平成１３年 ４月 １日	８０名	〃	〃
池 田 〃	昭和３７年 １月 ７日	１９７名	〃	〃
土庄町婦人防火クラブ連合会	昭和５４年１２月 ３日	兼 務	〃	土 庄 町
〃 土庄支部	昭和２６年 １月 １日	３５名	〃	〃
〃 淵崎支部	〃	９０名	〃	〃
〃 大鐸支部	〃	休 止	〃	〃
〃 北浦支部	〃	５０名	〃	〃
〃 四海支部	〃	７０名	〃	〃
〃 豊島支部	〃	休 止	〃	〃
馬 越 婦人消防クラブ	昭和５６年 ８月 １日	２５名	〃	〃

4. 防火対象物現況表（150㎡以上）

令和3年4月1日現在（単位：棟）

項 目		町 別 防火対象物区分	土 庄 町		小 豆 島 町		合 計	
			防火 対象 物数	法8 対象 物数	防火 対象 物数	法8 対象 物数	防火 対象 物数	法8 対象 物数
(1)	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等						
	ロ	公 会 堂 又 は 集 会 場	33	33	28	27	61	60
(2)	イ	キャバレー・カフェー等	1	1			1	1
	ロ	遊技場又はダンスホール	1	1			1	1
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等						
	ニ	カラオケボックス等						
(3)	イ	待 合 ・ 料 理 店						
	ロ	飲 食 店	15	10	9	8	24	18
(4)		百貨店・マーケット・店舗等	23	21	20	17	43	38
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所	46	29	30	18	76	47
	ロ	共同住宅・寄宿舎等	63	2	98	9	161	11
(6)	イ	病 院 ・ 診 療 所 等	8	2	10	3	18	5
	ロ	養 護 老 人 ホ ー ム 等	14	14	12	10	26	24
	ハ	老人デイサービスセンター等	12	9	11	7	23	16
	ニ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校 等			4	3	4	3
(7)		小・中・高・大学各種学校	3	3	18	7	21	10
(8)		図 書 館 ・ 博 物 館 等	3	3	12	7	15	10
(9)	イ	サ ウ ナ 等						
	ロ	公 衆 浴 場						
(10)		停 車 場 等	3		6		9	
(11)		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	23	11	16	8	39	19
(12)	イ	工 場 又 は 作 業 場	129	3	193	7	322	10
	ロ	映 画 ・ テ レ ビ ス タ ジ オ			1		1	
(13)		自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	16		5		21	
(14)		倉 庫	65		86		151	
(15)		前各項に該当しない事業場	51	26	54	19	105	45
(16)	イ	複 合 ・ 特 定 防 火 対 象 物	53	27	57	37	110	64
	ロ	イ以外の複合用途対象物	19	1	15	1	34	2
(17)		重 要 文 化 財 建 造 物 等	1		2		3	
合 計			582	196	687	188	1,269	384

5. 防火管理者選任届状況

令和3年4月1日現在（単位：棟）

項目	町 別 防火対象物区分		土 庄 町	小 豆 島 町	合 計
(1)	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等			
	ロ	公 会 堂 又 は 集 会 場	11	22	33
(2)	イ	キ ャ バ レ ー ・ カ フ ェ ー 等			
	ロ	遊 技 場 又 は ダ ン ス ホ ー ル	1		1
	ハ	性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 店 舗 等			
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等			
(3)	イ	待 合 ・ 料 理 店			
	ロ	飲 食 店	4	6	10
(4)		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト ・ 店 舗 等	12	10	22
(5)	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所	27	18	45
	ロ	共 同 住 宅 ・ 寄 宿 舎 等			
(6)	イ	病 院 ・ 診 療 所 等	1	4	5
	ロ	養 護 老 人 ホ ー ム 等	11	10	21
	ハ	老 人 デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー 等	6	7	13
	ニ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校 等		3	3
(7)		小 ・ 中 ・ 高 ・ 大 学 各 種 学 校	2	7	9
(8)		図 書 館 ・ 博 物 館 等	2	6	8
(9)	イ	サ ウ ナ 等			
	ロ	公 衆 浴 場			
(10)		停 車 場 等			
(11)		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	3	3	6
(12)	イ	工 場 又 は 作 業 場	2		2
	ロ	映 画 ・ テ レ ビ ス タ ジ オ			
(13)		自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場			
(14)		倉 庫			
(15)		前 各 項 に 該 当 し な い 事 業 場	20	11	31
(16)	イ	複 合 ・ 特 定 防 火 対 象 物	13	25	38
	ロ	イ 以 外 の 複 合 用 途 対 象 物			
(17)		重 要 文 化 財 建 造 物 等			
合 計			115	132	247

6. 建築同意事務処理状況

(1) 町別状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日(面積：㎡)

工事別	町 別	土 庄 町		小 豆 島 町		合 計	
		件 数	延 面 積	件 数	延 面 積	件 数	延 面 積
新	築	10	1,462.78	7	2,061.97	17	3,524.75
増	築	4	1,860.01	1	320.99	5	2,181.00
改	築						
用 途 変 更							
移	転						
増 改	築						
大 規 模 な 修 繕							
大 規 模 な 模 様 替 え							
そ の 他		2	8,073.73			2	8,073.73
合	計	16	11,396.52	8	2,382.96	24	13,779.48

(2) 月別・工事別状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日(面積：㎡)

区 分		工 事 別		新 築	増 築	改 築	用 途 変 更	そ の 他	合 計
		件 数	延 面 積						
4 月	件 数	1							1
	延 面 積	52.99							52.99
5 月	件 数	2							2
	延 面 積	407.13							407.13
6 月	件 数	2							2
	延 面 積	231.76							231.76
7 月	件 数			1					1
	延 面 積			388.74					388.74
8 月	件 数	1		2					3
	延 面 積	222.39		771.14					993.53
9 月	件 数	1		1					2
	延 面 積	44.22		89.32					133.54
10 月	件 数	2							2
	延 面 積	221.05							221.05
11 月	件 数	2							2
	延 面 積	815.46							815.46
12 月	件 数								
	延 面 積								
1 月	件 数	1							1
	延 面 積	337.06							337.06
2 月	件 数	2						2	4
	延 面 積	508.01						8,073.73	8,581.74
3 月	件 数	3		1					4
	延 面 積	684.68		931.80					1,616.48
合計	件 数	17		5				2	24
	延 面 積	3,524.75		2,181.00				8,073.73	13,779.48

(3) 用途別状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日(面積:㎡)

項 目		町 別 防火対象物区分	土 庄 町		小 豆 島 町		合 計	
			件 数	延面積	件 数	延面積	件数	延面積
(1)	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等						
	ロ	公 会 堂 又 は 集 会 場			1	337.06	1	337.06
(2)	イ	キャバレー・カフェ等						
	ロ	遊技場又はダンスホール						
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等						
	ニ	カラオケボックス等						
(3)	イ	待 合 ・ 料 理 店						
	ロ	飲 食 店						
(4)		百貨店・マーケット・店舗等	1	60.46			1	60.46
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所						
	ロ	共同住宅・寄宿舎等			2	795.66	2	795.66
(6)	イ	病 院 ・ 診 療 所 等						
	ロ	養 護 老 人 ホ ー ム 等						
	ハ	老人デイサービスセンター等	1	447.55			1	447.55
	ニ	幼稚園・養護学校等						
(7)		小・中・高・大学各種学校						
(8)		図 書 館 ・ 博 物 館 等	1	89.32			1	89.32
(9)	イ	サ ウ ナ 等						
	ロ	公 衆 浴 場						
(10)		停 車 場 等	1	931.80			1	931.80
(11)		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会						
(12)	イ	工 場 又 は 作 業 場	3	1,290.41	1	607.10	4	1,897.51
	ロ	映画・テレビスタジオ						
(13)		自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場						
(14)		倉 庫	3	141.60	1	320.99	4	462.59
(15)		前各項に該当しない事業場	3	7,809.05	1	13.16	4	7,822.21
(16)	イ	複 合 ・ 特 定 防 火 対 象 物						
	ロ	イ以外の複合用途対象物			1	256.00	1	256.00
(17)		重 要 文 化 財 建 造 物 等						
そ の 他			3	626.33			3	626.33
住 宅					1	52.99	1	52.99
合 計			16	11,396.52	8	2,382.96	24	13,779.48

7. 危険物施設の現況

令和3年4月1日現在

種 別 \ 町 別		土 庄 町	小 豆 島 町	合 計
製 造 所			1	1
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	2	12	14
	屋 外 貯 蔵 所	1	2	3
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所			
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	20	23	43
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	18	16	34
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	1	1	2
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	17	17	34
	小 計	59	71	130
取 扱 所	給 油 取 扱 所	23	16	39
	第 1 種 販 売 取 扱 所	3	1	4
	第 2 種 販 売 取 扱 所			
	一 般 取 扱 所	12	12	24
	小 計	38	29	67
合 計		97	101	198

8. 危険物施設の許認可状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日

区 分 \ 種 別		設 置 許 可	変 更 許 可	(完 成 検 査)	(完 成 検 査)	承 仮 使 用 認 可	仮 取 扱 認 可	仮 貯 蔵 及 び	選 任 届 者	保 安 監 督 者	解 任 届 者	保 安 監 督 者	廃 止 届	合 計
製 造 所														
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所													
	屋 外 貯 蔵 所						4							4
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所													
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所		2		2	2							1	7
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	1							6	6				13
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所													
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	1	2	1	2									6
	小 計	2	4	1	4	2	4	6	6	1	30			
取 扱 所	給 油 取 扱 所		4		4	4			6	6				24
	第 1 種 販 売 取 扱 所													
	第 2 種 販 売 取 扱 所													
	一 般 取 扱 所								4	4	2	10		
	小 計		4		4	4		10	10	2	34			
合 計		2	8	1	8	6	4	16	16	3	64			

9. 各種届出事務処理状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日

種 別 \ 町 別	土 庄 町	小 豆 島 町	合 計
工事整備対象設備等着工届	13	3	16
消防用設備等(特殊消防用設備等)設置届	38	37	75
消防用設備等点検結果報告	136	159	295
防火対象物使用開始届	26	17	43
防火管理者選任(解任)届	35	16	51
消防計画書作成(変更)届	51	23	74
消火・避難訓練実施届	81	102	183
り 災 証 明	3	0	3
ボ イ ラ ー 設 置 届	2	3	5
乾 燥 設 備 設 置 届	0	1	1
発電変電蓄電池設備設置届	11	8	19
火災とまぎらわしい行為の届	6	20	26
煙火打ち上げ・仕掛届	2	6	8
催 物 開 催 届	0	0	0
露 店 の 開 設 届	2	5	7
少量危険物貯蔵取扱届	4	8	12
圧縮アセチレンガス貯蔵取扱届	0	0	0
液化ガス貯蔵取扱届	2	1	3
液化石油ガス設備工事届	0	2	2
旅館等適合通知書交付申請	12	7	19
合 計	424	418	842

10. 広報・広聴実施状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日

町 別 \ 種 別	土 庄 町			小 豆 島 町			合 計		
	回 数	対 象 人 員 数	指 導 職 員 数	回 数	対 象 人 員 数	指 導 職 員 数	回 数	対 象 人 員 数	指 導 職 員 数
学 校									
幼稚園等	4	174	7	5	199	14	9	373	21
旅 館	14	43	42	1	6	3	15	49	45
工場・作業場				1	50	2	1	50	2
婦 人 会									
老 人 会									
そ の 他	8	113	25	11	179	28	19	292	53
合 計	26	330	74	18	434	47	44	764	121

1 1. 中高層建築物(4階以上)の現況表

令和3年4月1日現在

項 目		町 別		土 庄 町							小 豆 島 町							合 計							
		階 別 対 象 物		四	五	六	七	八	十	小	四	五	六	七	十	十三	小	四	五	六	七	八	十	十三	合
				階	階	階	階	階	階	計	階	階	階	階	階	階	計	階	階	階	階	階	階	階	計
(1)	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等																							
	ロ	公 会 堂 又 は 集 会 場	1						1								1							1	
(2)	イ	キャバレー・カフェー等																							
	ロ	遊技場又はダンスホール																							
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等																							
	ニ	カラオケボックス等																							
(3)	イ	待 合 ・ 料 理 店																							
	ロ	飲 食 店																							
(4)		百貨店・マーケット・店舗等																							
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所	7	3			2	1	13					1	1	2	7	3			2	2	1	15	
	ロ	共同住宅・寄宿舎等	7	4	1	1			13	14	17	1				32	21	21	2	1				45	
(6)	イ	病 院 ・ 診 療 所 等									1	2				3		1	2					3	
	ロ	養 護 老 人 ホ ー ム 等		1					1	1						1	1	1						2	
	ハ	老人デイサービスセンター等	1						1	1						1	2							2	
	ニ	幼稚園・養護学校等																							
(7)		小・中・高・大学各種学校	1						1	1						1	2							2	
(8)		図 書 館 ・ 博 物 館 等																							
(9)	イ	サ ウ ナ 等																							
	ロ	公 衆 浴 場																							
(10)		停 車 場 等																							
(11)		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会		1					1									1						1	
(12)	イ	工 場 ・ 作 業 場	1						1	3	1					4	4	1						5	
	ロ	映画・テレビスタジオ																							
(13)		自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場																							
(14)		倉 庫																							
(15)		前各項に該当しない事業場	3			1			4	4						4	7			1				8	
(16)	イ	複合・特定防火対象物	4	1					5			1				1	4	1		1				6	
	ロ	イ以外の複合用途対象物	5						5		1					1	5	1						6	
(17)		重要文化財建造物等																							
合 計			30	10	1	2	2	1	46	24	20	3	1	1	1	50	54	30	4	3	2	2	1	96	

消 防 防 災



1. 主たる警防行事（令和2年）

1月 5日	土庄町消防出初式、小豆島町消防出初式	
7月 6日	令和2年度香川地区大量排出油等防除協議会定例会議	（書面会議）
9月23日	第2回警防技術指導会担当者会議	（高松市）
11月13日	耕運機事故の救急救助事案対応訓練	
11月27日	令和2年度香川県緊急消防援助隊受援訓練に伴う実動訓練	（高松市）

2. 主たる救急行事（令和2年）

1月30日～31日	第28回全国救急隊員シンポジウム	（宮城県）
2月 1日	第36回ドクターヘリ活動検証会	（岡山県）
2月 3日	令和元年度第4回事後検証会議	（高松市）
2月 6日	指導救命士の役割を考える検討会	（高松市）
2月26日	令和元年度第2回香川県メディカルコントロール協議会検討部会	（高松市）
4月23日	新型コロナウイルス感染症に係る意見交換会	（高松市）
8月 3日	令和2年度第1回事後検証会議	（高松市）
10月26日	令和2年度第2回事後検証会議	（WEB）
11月16日	令和2年度第1回香川県メディカルコントロール協議会検討部会	（WEB）
11月18日	香川県児童虐待防止講演会	（高松市）
12月18日	令和2年度第1回香川県下指導救命士救急業務検討部会	（WEB）
12月21日	令和2年度第3回事後検証会議	（WEB）

3. 消防車両等配置状況

令和3年4月1日現在

	名 称	種 別	車 名	登 録 年 月 日	備 考
西 署	指 揮 車	指揮車	トヨタ	平成24年12月13日	
	ポンプ1号車	消防ポンプ車CD-1	三菱	平成18年 3月27日	水槽 700ℓ
	ポンプ2号車	消防ポンプ車CD-1	日野	平成24年 2月28日	水槽 600ℓ CAFS 装置付き
	ポンプ3号車	水槽車小型動力ポンプB-2	日野	平成29年12月14日	水槽2,500ℓ
	は し ご 車	先端屈折式はしご車 30m級	日野	平成30年10月22日	
	救 助 工 作 車	救助工作車Ⅱ型	日野	平成16年 3月19日	
	防災工作1号車	積載車	三菱	平成22年 9月22日	
	救 急 1 号 車	高規格救急車 ハイエース	トヨタ	平成20年 1月25日	
	救 急 2 号 車	高規格救急車 ハイエース	トヨタ	平成26年12月16日	
	査察広報1号車	ミニキャブバン	三菱	平成22年 8月24日	
	防 火 広 報 車	エブリイバン	スズキ	平成27年10月30日	
東 署	ポンプ4号車	消防ポンプ車CD-1	日野	平成17年 3月23日	
	ポンプ5号車	消防ポンプ車CD-1	日野	平成26年 2月24日	水槽 600ℓ CAFS 装置付き
	防災工作2号車	積載車	三菱	平成23年 9月28日	
	救 急 3 号 車	高規格救急車 ハイエース	トヨタ	令和 3年 1月12日	
	救 急 4 号 車	高規格救急車 ハイエース	トヨタ	平成21年11月27日	
	査察広報2号車	ハイゼットカーゴ	ダイハツ	平成28年 8月31日	

4. 主な機械器具の配置状況

令和3年4月1日現在

器 具 別		署 所 別	西 署	東 署	合 計
放 水 器 具	消防用ホース 6 5 mm		131	115	246
	消防用ホース 5 0 mm		134	140	274
	小型動力ポンプ B - 3 級		1	1	2
	小型動力ポンプ C - 1 級		1	-	1
	手引ホースカー		2	2	4
	フォグガン		3	2	5
	放水銃		2	1	3
	集水器		9	3	12
	低発砲ノズル 8 0 0 0 型		2	1	3
	低発砲ノズル 4 0 0 0 型		2	1	3
	低発砲ノズル 2 0 0 0 型		-	3	3
	ユニット式プロポーションナー		1	1	2
	ラインプロポーションナー		3	1	4
	ピックアップ式泡ノズル		1	1	2
	ウォーターチャージャー		-	1	1
	背負式ポンプ		5	11	16
	簡易水槽		1	1	2
一 般 救 助 用 器 具	かぎ付はしご		3	2	5
	三連はしご		2	2	4
	救命索発射銃		2	2	4
	サバイバースリング又は救助用縛帯		4	6	10
重 量 物 排 除 用 器 具	油圧ジャッキ		1	1	2
	油圧スプレッダー		1	1	2
	可搬ウィンチ		2	2	4
	マット型空気ジャッキ		1	2	3
	大型油圧スプレッダー		1	1	2
切 断 用 器 具	エンジンカッター		1	2	3
	酸素溶断器		1	-	1
	チェンソー		2	2	4
	鉄線カッター		4	9	13
	大型油圧切断機		1	1	2
	空気切断機		1	1	2
破 壊 用 器 具	万能斧		2	4	6
	削岩機		1	1	2
	ハンマードリル		3	1	4

測定用器具	複合ガス検知器	1	1	2
呼吸保護用器具	空気呼吸器	18	8	26
	予備ボンベ	25	7	32
	防塵マスク	30	26	56
	送排風機	1	－	1
隊員保護用器具	耐熱防護服	2	2	4
	耐電衣	3	3	6
	耐電ズボン	3	3	6
	耐電長靴	3	3	6
	耐電手袋	10	8	18
	防塵メガネ	30	26	56
	フルボディーハーネス	2	2	4
	ショックアブソーバー	2	2	4
	下肢切断防止用保護衣	1	1	2
水難救助用器具	救命胴衣	22	25	47
	救命浮環	3	4	7
	救命ボート	3	3	6
	船外機	1	－	1
山岳救助用器具	バスケット型担架	2	2	4
その他の救助用器具	投光器	4	3	7
	携帯拡声器	9	2	11
	緩降機	1	－	1
	発電機	5	5	10
その他の器具	空気充填機	1	－	1
	モッコ	1	－	1
救急器具	携帯用酸素吸入器	3	2	5
	自動体外式除細動器	4	4	8
	自動式心臓マッサージ器	2	1	3
	ショックパンツ	3	2	5
	患者監視モニター	2	2	4
	救急資機材滅菌器	1	1	2
	殺菌消毒器	2	3	5
	全身固定具	3	4	7
	応急処置用セット	2	－	2

５．消火薬剤の備蓄状況

令和３年４月１日現在

署所別 薬剤種別	西 署	東 署	合 計
合成界面活性剤 泡消火薬剤	1,660ℓ	1,011ℓ	2,671ℓ

6. 消防水利の現況

令和3年4月1日現在

種 別 \ 町 別		土 庄 町	小 豆 島 町	合 計
防火水槽	40 m ³ 以 上	53	94	147
	40 m ³ 未 満	8	4	12
消 火 栓	150 mm 以 上	77	136	213
	150 mm 未 満	563	352	915
そ の 他	プー ル	6	10	16
	池	41	42	83
	海	38	56	94
	井 戸	13	16	29
合 計		799	710	1,509

7. 防災関係届出事務処理状況

令和2年1月1日～令和2年12月31日

種 別 \ 署 所 別		西 署	東 署	合 計
消防活動に支障をおよぼす恐れのある道路占用届出		21	42	63

8. 災害別出動状況

令和2年1月1日～令和2年12月31日

種別 区分	火 災		救 助		救急支援		危険物の 排除		誤報 偵察等		風水害等		その他		合 計	
災 害 件 数	8 件		12 件		200 件		6 件		20 件		0 件		5 件		251 件	
出 動 内 訳	回 数	人 員	回 数	人 員	回 数	人 員	回 数	人 員	回 数	人 員	回 数	人 員	回 数	人 員	回 数	人 員
西 署	5	74	4	69	169	1,145	4	46	13	94	0	0	1	10	196	1,438
東 署	3	53	8	109	31	256	2	13	7	46	0	0	4	45	55	522
合 計	8	127	12	178	200	1,401	6	59	20	140	0	0	5	55	251	1,960

9. 救急法指導状況

(1) 普通救命講習実施状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日

講習種別	実施回数	対象延べ人数
普通救命講習Ⅰ	7	67
普通救命講習Ⅱ	8	39
普通救命講習Ⅲ	0	0
合計	15	106

(2) 救急講習会実施状況

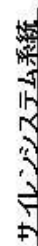
令和2年4月1日～令和3年3月31日

実施回数	対象延べ人数
15	208

情報指令



系統圖



2. 通信施設状況

小豆島西消防署

令和3年4月1日現在

設置場所	局 種	呼 出 名 称	出 力	活 動 波 1	活 動 波 2	主 運 用 波	統 制 波 1	統 制 波 2	統 制 波 3	署 活 1	署 活 2	防 災 相 互 波	開 始 年 月 日
ポンプ1号車	移動局	しょうず しょうぼう にし 1	5w	○	○	○	○	○	○			○	平成28年3月7日
ポンプ2号車	〃	〃 2	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
ポンプ3号車	〃	〃 3	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
防災工作1号車	〃	〃 6	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
団本部軽四積載車	〃	〃 8	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
団本部指揮車	〃	〃 9	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
指 揮 車	〃	〃 10	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
は し ご 車	〃	〃 11	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
救 助 工 作 車	〃	〃 12	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
防 火 広 報 車	〃	〃 13	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
査察広報1号車	〃	〃 14	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
指揮車(後部)	〃	〃 16	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
通信指令室(予備)	〃	〃 17	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
高規格救急車1号車	〃	しょうず きゅうきゅう にし 1	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
高規格救急車2号車	〃	〃 2	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
西 署	〃	しょうず しょうぼう にし 100	1w	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 101	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 102	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 103	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 106	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 108	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 109	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 110	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 111	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 112	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 113	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 114	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 120	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 130	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	しょうず きゅうきゅう にし 121	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 122	〃	○	○	○	○	○	○				〃

設置場所	局 種	呼 出 名 称	出 力	活 動 波 1	活 動 波 2	主 運 用 波	統 制 波 1	統 制 波 2	統 制 波 3	署 活 1	署 活 2	防 災 相 互 波	開 始 年 月 日
西 署	移動局	しょうず しょうぼう 1	1w							○	○		平 成 28 年 3 月 7 日
〃	〃	〃 2	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 3	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 4	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 5	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 6	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 7	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 8	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 9	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 10	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 11	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 12	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 13	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 14	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 15	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 16	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 17	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 18	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 19	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 20	〃							○	○		〃
〃	〃	しょうず かはん にし 1	5w	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	しょうず たくじょう にし 1	〃	○	○	○	○	○	○				〃

小豆島東消防署

令和 3 年 4 月 1 日現在

設置場所	局 種	呼 出 名 称	出 力	活 動 波 1	活 動 波 2	主 運 用 波	統 制 波 1	統 制 波 2	統 制 波 3	署 活 1	署 活 2	防 災 相 互 波	開 始 年 月 日
ポンプ 4 号車	移動局	しょうず しょうぼう ひがし 4	5w	○	○	○	○	○	○			○	平 成 28 年 3 月 7 日
ポンプ 5 号車	〃	〃 5	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
防災工作 2 号車	〃	〃 7	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
査察広報 2 号車	〃	〃 15	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
高規格救急車 3 号車	〃	しょうず きゅうきゅう ひがし 3	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
高規格救急車 4 号車	〃	〃 4	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
東 署	〃	しょうず しょうぼう ひがし 104	1w	○	○	○	○	○	○				〃

設置場所	局 種	呼 出 名 称	出 力	活 動 波 1	活 動 波 2	主 運 用 波	統 制 波 1	統 制 波 2	統 制 波 3	署 活 1	署 活 2	防 災 相 互 波	開 始 年 月 日
東 署	移動局	〃 105	1w	○	○	○	○	○	○				平成 28 年 3 月 7 日
〃	〃	〃 107	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 115	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 116	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 140	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 150	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	しょうず きゅうきゅう ひがし 123	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 124	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	しょうず しょうぼう 21	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 22	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 23	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 24	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 25	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 26	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 27	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 28	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 29	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 30	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 31	〃							○	○		〃
〃	〃	しょうず かはん ひがし 2	5w	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	しょうず たくじょう ひがし 2	〃	○	○	○	○	○	○				〃

基地局

令和 3 年 4 月 1 日現在

設置場所	局 種	呼 出 名 称	出 力	活 動 波 1	活 動 波 2	主 運 用 波	統 制 波 1	統 制 波 2	統 制 波 3	署 活 1	署 活 2	防 災 相 互 波	開 始 年 月 日
土庄基地局	基地局	とのしょうきちきよく	10w	○	○	○	○	○	○				平成 28 年 3 月 7 日
田井基地局	〃	たいきちきよく	〃	○	○	○	○	○	○				〃
内海基地局	〃	うちのみきちきよく	〃	○	○	○	○	○	○				〃
福田基地局	〃	ふくだきちきよく	〃	○	○	○	○	○	○				〃

3. 119番受信状況

令和2年1月1日～令和2年12月31日

区分 月別	火 災	救 急	救 助	その他	問い合わせ	誤 報	いたずら	訓 練 試 験	合 計
1 月	0	86	0	12	17	2	6	19	142
2 月	4	82	0	14	10	11	28	20	169
3 月	1	79	1	9	7	7	24	25	153
4 月	1	54	0	5	11	5	0	19	95
5 月	0	76	1	6	5	8	1	15	112
6 月	0	66	0	8	13	5	3	59	154
7 月	1	61	0	7	6	3	2	37	117
8 月	1	85	0	6	13	5	2	17	129
9 月	0	76	0	5	8	8	2	29	128
10月	0	88	2	6	5	8	1	40	150
11月	1	101	1	10	12	5	0	28	158
12月	1	107	0	14	7	7	2	16	154
合 計	10	961	5	102	114	74	71	324	1,661

4. 気象状況（観測地：消防本部）

令和2年1月1日～令和2年12月31日

区分 月別	気温(℃)		湿度(%)		最多 風向	平均 風速 (m/s)	降雨 日数	降雨量 (mm)
	最高	最低	最高	最低				
1 月	15.1	1.8	97.7	35.8	西	3.0	10	41.5
2 月	16.5	-0.1	97.7	22.4	西	2.8	7	24.0
3 月	19.4	1.5	97.7	26.6	西	2.6	14	63.5
4 月	22.3	4.7	97.4	19.1	西	3.1	7	97.5
5 月	26.7	10.4	97.7	26.1	西南西	2.4	8	31.0
6 月	30.3	16.5	97.5	31.3	西	1.9	12	104.0
7 月	33.3	19.9	97.7	55.2	東	1.9	18	198.5
8 月	36.0	22.9	97.2	38.8	東	1.8	2	3.5
9 月	36.3	17.1	97.4	37.4	北東	2.7	11	70.5
10月	26.0	8.6	97.5	38.0	北東	2.3	10	114.0
11月	23.7	6.1	97.5	38.8	北東	2.4	4	31.0
12月	15.5	1.3	97.5	39.4	北東	3.5	7	7.0
合 計							110	786.0

5. 気象情報受理状況

令和2年1月1日～令和2年12月31日

種 別 \ 月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
特別警報	暴風特別警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	暴風雪特別警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	大雨特別警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	大雪特別警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	高潮特別警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	波浪特別警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	小 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
警報	暴風警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	暴風雪警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	大雨警報	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
	大雪警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	高潮警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	波浪警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	洪水警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	小 計	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
注意報	風雪注意報	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
	強風注意報	3	2	4	6	3	-	-	-	2	2	2	4	28
	大雨注意報	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	6
	大雪注意報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	高潮注意報	-	-	-	1	-	-	-	-	1	6	-	-	8
	波浪注意報	3	2	4	6	3	-	-	-	2	2	2	3	27
	洪水注意報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	着雪注意報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	乾燥注意報	1	3	2	3	2	1	-	1	1	-	1	2	17
	濃霧注意報	1	2	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-	7
	霜 注意報	-	-	13	10	-	-	-	-	-	-	-	-	23
	なだれ注意報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	融雪注意報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	低温注意報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	着氷注意報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	雷 注意報	2	2	6	5	4	7	10	14	8	1	1	1	61
	小 計	10	12	29	32	13	11	15	15	14	11	6	12	180
火災気象通報		6	9	18	29	11	2	0	4	11	3	6	19	118
合 計		16	21	47	61	24	13	16	19	25	14	12	31	299

火災統計



火 災 統 計

1. 火災発生状況

令和2年1月1日～令和2年12月31日

区 分 \ 町 別		土 庄 町		小 豆 島 町				合 計		
				内 海 方 面		池 田 方 面				
		元年	2 年	元年	2 年	元年	2 年	元年	2 年	
全 火 災		件 数	7	4	3	1	1	1	11	6
		損害額 千円	17,115	6,787	8,296	0	83	26	25,494	6,813
火 災 種 別	建 物	件 数	4	2	3		1	1	8	3
		焼損床面積 m ²	486	296	249		6	0	741	296
		焼損表面積 m ²	29	16	2			10	31	26
		損 害 額 千 円	17,094	5,467	8,296		83	26	25,473	5,493
	林 野	件 数				1				1
		焼 損 面 積 a				6				6
		損 害 額 千 円				0				0
	車 両	件 数		2						2
		損 害 額 千 円		1,320						1,320
	船 舶	件 数								
		損 害 額 千 円								
	航空機	件 数								
		損 害 額 千 円								
	その他	件 数	3						3	
		焼 損 面 積 a	2.41						2.41	
		損 害 額 千円	21						21	
り 災 世 帯 数		5		5		1		11		
り 災 者 数 (人)		8		9		2		19		
死 者 (人)										
負 傷 者 (人)		1		2				3		
出火率（1万人あたり）（件）		5.1	3.1	※2.8	※1.5	※2.8	※1.5	3.9	2.3	

※小豆島町の出火率は両方面合計したもの

2. 時間別火災状況

区 分 時間別	火 災 件 数	火 災 種 別						焼 損 面 積						損害額 (千円)
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	建 物		林 野 _a	そ の 他 _a	船 舶	航 空 機	
								床面積 ㎡	表面積 ㎡					
0時～ 1時														
1～ 2														
2～ 3														
3～ 4														
4～ 5	1	1						235	16					4,093
5～ 6	1	1						61						1,374
6～ 7														
7～ 8														
8～ 9														
9～10	1	1							10					26
10～11														
11～12														
12～13	1													120
13～14	1			1										1,200
14～15				1										
15～16														
16～17														
17～18														
18～19														
19～20														
20～21														
21～22														
22～23														
23～24														
不 明	1		1							6				
合 計	6	3	1	2				296	26	6				6,813

3. 月・曜日別火災状況

月別 曜日別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	損害額 (千円)
月												1	1	4,093
火		2						1					3	1,226
水											1		1	120
木							1						1	1,374
金														
土														
日														
不 明														
合 計		2					1	1			1	1	6	6,813

4. 月別火災状況

月別 種別	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
建 物		1					1					1	3
林 野		1											1
車 両								1			1		2
船 舶													
航空機													
その他													
合 計		2					1	1			1	1	6

5. 覚知別火災状況

覚知別 署所別	1 1 9	加入電話	駆け付け	事後覚知	その他	計	損害額 (千円)
西 署	4					4	6,787
東署（内海方面）		1				1	0
東署（池田方面）	1					1	26
合 計	5	1				6	6,813

6. 原因別火災状況

原因別 区 分	火 災 件 数	火 災 種 別						焼 損 面 積				損 害 額 (千円)
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	建 物		林 野 _a	そ の 他 _a	
								床面積 m ²	表面積 m ²			
ガ ス コ ン ロ												
不 明	1		1							6		0
子 供 の 火 遊 び												
電 灯 ・ 電 話 等 の 配 線	2	2						296	16			5,467
電 気 装 置												
溶 接 機				1								120
マ ッ チ												
放 火												
放 火 の 疑 い												
そ の 他	3	1		1					10			1,226
合 計	6	3	1	2				296	26	6		6,813

7. 建物火災用途別火災状況（月別）

月別 用途別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	床面積 m ²	表面積 m ²	損害額 (千円)
住 宅																
住 宅・物 置																
店 舗																
納 屋							1						1	61		1,374
倉 庫																
その他の建築物		1										1	2	235	26	4,119
合 計		1					1					1	3	296	26	5,493

8. 過去10ヶ年火災状況

年別 区分	火 災 件 数				損 害 額 (千円)			
	土庄町	小豆島町		計	土庄町	小豆島町		計
		内海方面	池田方面			内海方面	池田方面	
平成23年	7	5	7	19	3,755	2,219	31,655	37,629
平成24年	5	3	5	13	5,064	7,477	591	13,132
平成25年	2	6	3	11	0	9,870	5,285	15,155
平成26年	10	9	3	22	3,394	952	1,412	5,758
平成27年	4	4	0	8	216	200	0	416
平成28年	4	9	2	15	8,531	4,842	429	13,802
平成29年	8	6	3	17	11,473	21,165	2,444	35,082
平成30年	8	5	3	16	5,896	10,576	249	16,721
令和 元年	7	3	1	11	17,115	8,296	83	25,494
令和 2年	4	1	1	6	6,787	0	26	6,813
10年間平均	6	5	3	14	6,223	6,560	4,217	17,000

※10年間平均については小数点以下を四捨五入したもの。

救 急 統 計



救 急 統 計

1. 事故別救急出場状況

令和2年1月1日～令和2年12月31日

月 別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
事 故 別	出 場 件 数	103	106	102	79	102	91	83	119	104	122	137	132	1,280
	搬 送 人 員	98	99	98	77	98	88	79	113	100	116	129	124	1,219
火 災	出場件数	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自然災害	出場件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水 難	出場件数	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	2	6
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	2	3
交通事故	出場件数	6	9	5	6	9	7	1	8	6	8	9	5	79
	搬送人員	4	8	4	6	9	8	1	7	6	7	9	5	74
労働災害	出場件数	0	1	0	3	2	1	1	3	1	0	1	0	13
	搬送人員	0	1	0	3	2	1	1	3	1	0	1	0	13
運動競技	出場件数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
一般負傷	出場件数	18	27	18	16	18	14	19	16	14	18	30	29	237
	搬送人員	18	25	17	15	17	13	19	16	14	16	29	28	227
加 害	出場件数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
自損行為	出場件数	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	4
	搬送人員	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	4
急 病	出場件数	63	50	64	41	55	52	44	68	58	66	70	75	706
	搬送人員	60	49	63	40	52	51	42	63	55	63	67	71	676
そ の 他	出場件数	15	16	15	13	17	16	15	23	23	29	27	21	230
	搬送人員	15	15	14	13	17	15	15	23	22	28	23	20	220

2. 覚知別救急出場状況

覚 知 別	119番	一般加入	駆け付け	そ の 他	計
救 急 件 数	963	303	8	6	1,280

3. 医療機関等収容可能状況照会回数（救急出場時）

照 会 回 数	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回以上	計
搬 送 人 員	1,206	7	5	0	1	0	1,219

4. 救急隊員の行った応急処置数

事 故 別 処 置 別		急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他	合 計
応 急 処 置 対 象 人 員		676	74	227	242	1,219
止 血		3	10	25	4	42
固 定		37	57	155	11	260
人 工 呼 吸		8		1	5	14
心 肺 蘇 生		25		1	2	28
酸 素 吸 入		205	13	19	66	303
気 道 確 保		48	1	2	4	55
保 温		191	24	64	75	354
被 覆		3	27	45	7	82
在 宅 療 法 継 続		25		3	1	29
ショックパンツによる血圧保持						
除 細 動		1				1
血 糖 測 定		26				26
静 脈 路 確 保	(C P A前)	7	1			8
	(C P A後)	8				8
ブ ド ウ 糖 投 与		5				5
薬 剤 投 与		8				8
そ の 他 の 応 急 処 置		657	63	206	173	1,099
血 圧 測 定		645	74	223	220	1,162
心 音 ・ 呼 吸 音 等 の 聴 取		488	58	111	72	729
血 中 酸 素 飽 和 度 の 測 定		651	74	224	233	1,182
心 電 図		611	40	134	124	909

5. 時間別救急出場状況

時間別 事故別	0～	2～	4～	6～	8～	10～	12～	14～	16～	18～	20～	22～	計
急 病	22	31	31	64	98	78	82	65	61	78	58	38	706
交 通 事 故	0	0	0	4	7	14	11	21	9	10	0	3	79
一 般 負 傷	10	6	15	14	38	34	21	25	28	24	15	7	237
転 院 搬 送	3	4	4	9	30	48	44	28	19	15	7	10	221
そ の 他	2	0	2	2	4	5	4	6	6	1	2	3	37
合 計	37	41	52	93	177	179	162	145	123	128	82	61	1,280

6. 曜日別救急出場状況

曜 日 別	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	合 計
救 急 件 数	209	197	209	180	175	156	154	1,280

7. 現場到着所要時間別出場状況

時間 事故別	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計	平均所要時間 (分)
急 病	8	91	379	179	49	706	9.0
交 通 事 故	0	12	40	22	5	79	9.3
一 般 負 傷	1	30	132	58	16	237	9.0
そ の 他	5	9	69	171	4	258	10.8
合 計	14	142	620	430	74	1,280	

8. 収容所要時間別搬送人員

所要時間 事故別	10分未満		10分以上 20分未満		20分以上 30分未満		30分以上 60分未満		60分以上 120分未満		120分以上		合 計	
		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外
急 病			6		214		417		38		1		676	
交通事故					22		47		4		1		74	
一般負傷			3		50		155		18		1		227	
そ の 他			6		53		118	2	49	48	16	16	242	66
合 計			15		339		737	2	109	48	19	16	1,219	66

9. 年齢区分別搬送人員

事故別 年齢別	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
新 生 児							1				4	5
乳 幼 児							4			12	4	20
少 年				2		1	2			16	5	26
成 年			3	34	11		29		2	124	58	261
高 齢 者				38	2		191	1	2	524	149	907
合 計			3	74	13	1	227	1	4	676	220	1,219

10. 発生場所別搬送人員

事故別 場所別	住 宅	公衆場所	仕 事 場	道 路	そ の 他	合 計
急 病	545	90	16	17	8	676
交 通 事 故		1		71	2	74
一 般 負 傷	139	30	2	37	19	227
そ の 他	4	224	8	2	4	242
合 計	688	345	26	127	33	1,219

11. 管轄外転院搬送件数

搬送種別 年 別	巡 視 艇	高松市消防局 救 急 艇	ヘリコプター	フ ェ リ ー	海上タクシー (高速艇等)	そ の 他	合 計
平成25年	1	19	48	85	1(0)		154
平成26年	3	31	56	86	0(1)	1	178
平成27年		24	92	82		1	199
平成28年		28	85	76	1(0)		190
平成29年	2	29	121	86			238
平成30年		37	98	56	1(0)		192
令和元年		40	109	55			204
令和2年	1	36	106	64	1	0	208

1 2. 傷病程度別搬送人員

事故別 傷病程度	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他	合 計
死 亡							1		1	19	1	22
重 症			1	8	1		25			79	22	136
中 等 症			1	23	5		110	1	3	329	54	526
軽 症			1	43	7	1	91			249	4	396
そ の 他											139	139
合 計			3	74	13	1	227	1	4	676	220	1,219

1 3. 小豆2町、年別救急出場状況

年 別 町 別	23 年	24 年	25 年	26 年	27 年	28 年	29 年	30 年	元 年	2 年	10年間 平 均
土庄町	出場件数	599	651	649	588	607	523	555	605	544	582
	搬送人員	552	581	594	538	558	472	512	562	504	535
小豆島町	内海方面	出場件数	511	488	516	464	517	440	461	488	481
		搬送人員	482	449	472	412	466	393	412	443	436
	池田方面	出場件数	200	198	184	168	166	284	412	350	267
		搬送人員	189	187	169	152	160	271	399	346	256
郡 外	出場件数	1	1							2	
	搬送人員	1	1							2	
合 計	出場件数	1,311	1,338	1,349	1,220	1,290	1,247	1,428	1,443	1,400	1,331
	搬送人員	1,224	1,218	1,235	1,102	1,184	1,136	1,323	1,351	1,287	1,228

※10年間平均については小数点以下を四捨五入したもの

1 4. 過去10ヶ年の主な救急出場状況

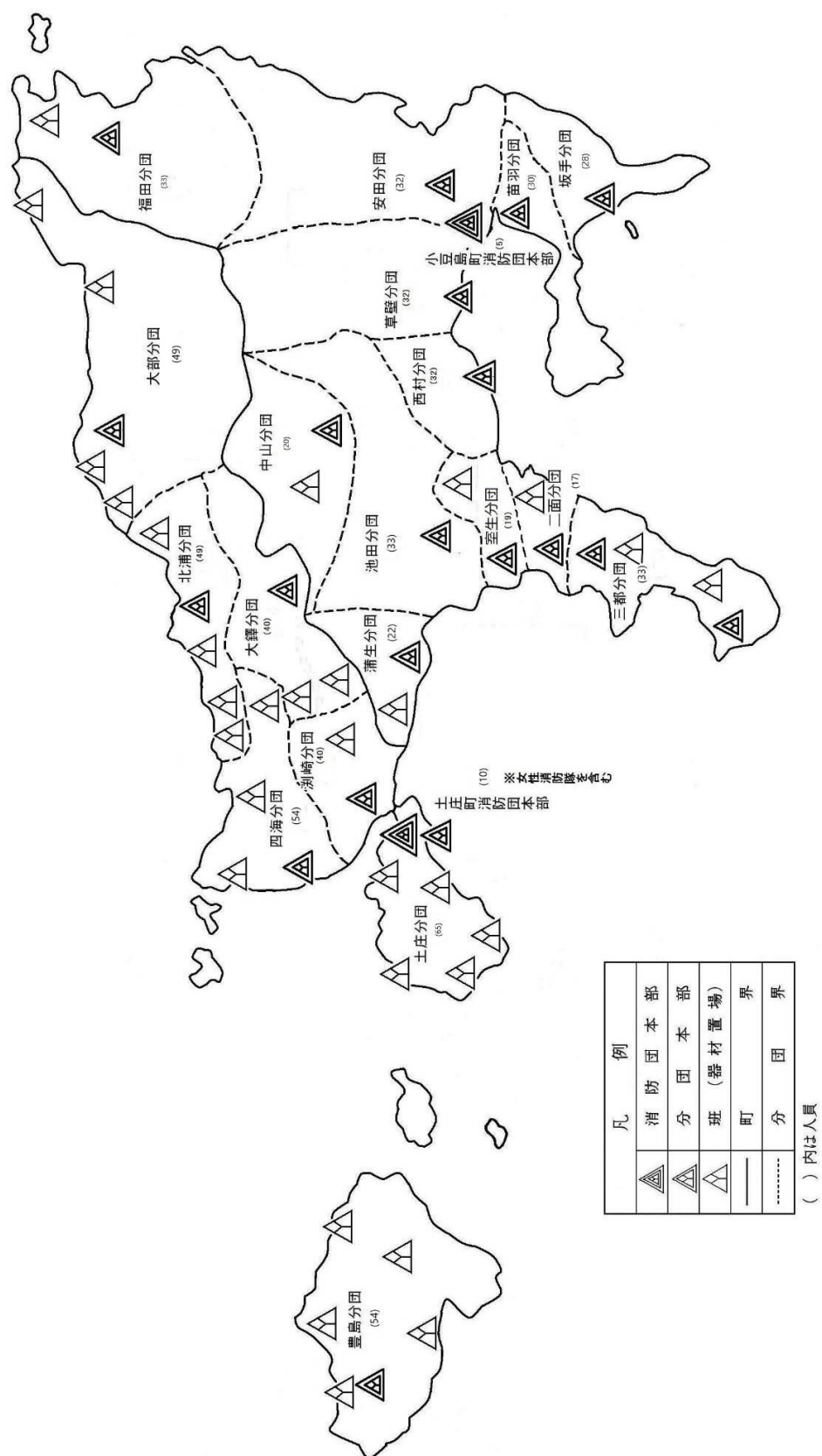
年 別 町 別	23 年	24 年	25 年	26 年	27 年	28 年	29 年	30 年	元 年	2 年	10年間 平 均
急 病	778	767	799	700	730	717	757	815	831	706	760
交 通 事 故	89	99	81	84	106	97	104	87	95	79	92
一 般 負 傷	189	223	215	198	191	185	265	244	208	237	216
そ の 他	255	249	254	238	263	248	302	297	266	258	263
合 計	1,311	1,338	1,349	1,220	1,290	1,247	1,428	1,443	1,400	1,280	1,331

※10年間平均については小数点以下を四捨五入したもの

消防団

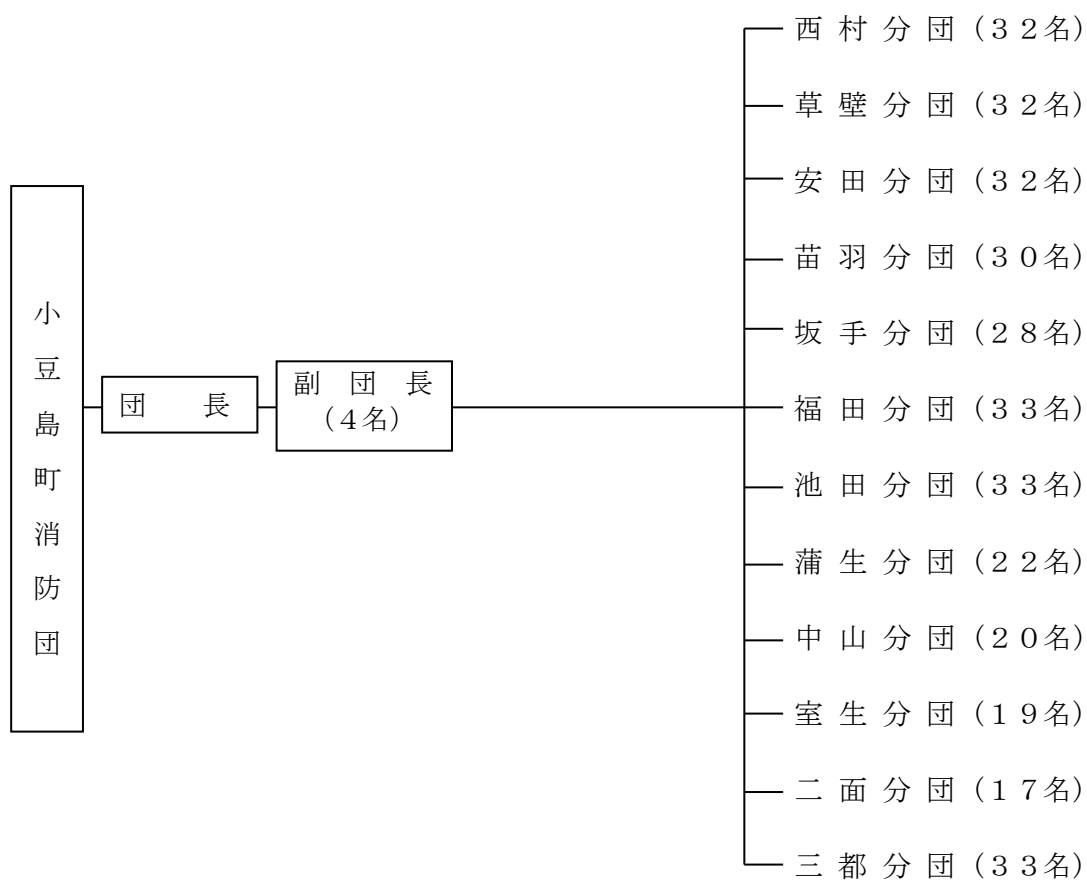
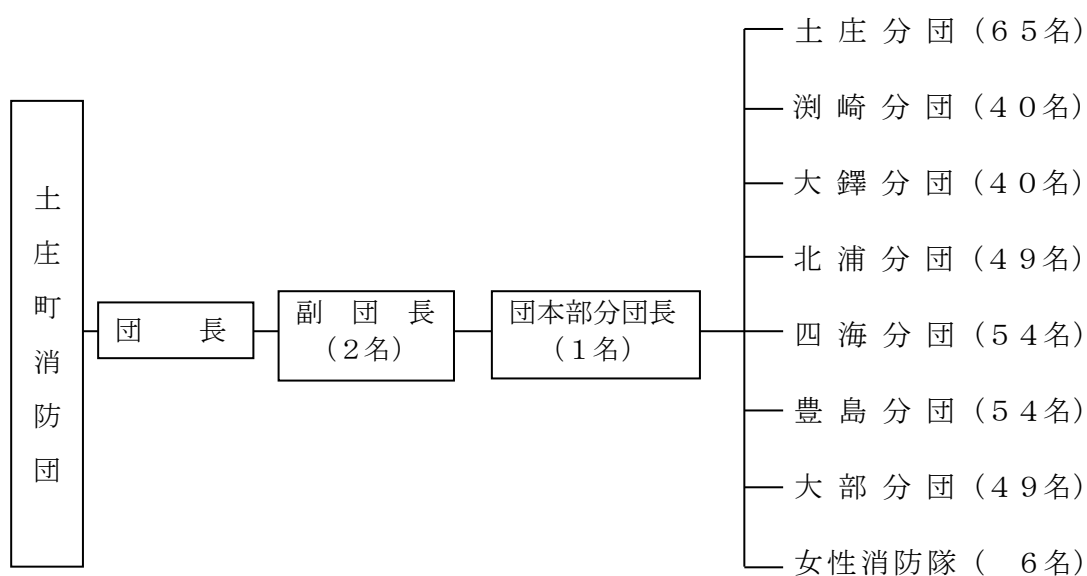


1.2 町消防団現勢分布図



2. 消防団の組織・機構

令和3年4月1日現在



3. 消防団員の勤務年数及び年齢
(勤務年数)

令和 3 年 4 月 1 日現在

団 別 年齢別	土 庄 町 消 防 団	小 豆 島 町 消 防 団	合 計
1 年 未 満	1 7	1 0	2 7
1 年 ～ 5 年	6 6	4 4	1 1 0
5 年 ～ 1 0 年	9 0	5 6	1 4 6
1 0 年 ～ 1 5 年	6 9	5 6	1 2 5
1 5 年 ～ 2 0 年	5 3	5 9	1 1 2
2 0 年 ～ 2 5 年	4 0	5 6	9 6
2 5 年 ～ 3 0 年	1 2	2 5	3 7
3 0 年 ～ 3 5 年	9	1 9	2 8
3 5 年 以 上	5	1 1	1 6
合 計	3 6 1	3 3 6	6 9 7
平 均 勤 続 年 数	1 1 . 3	1 5 . 3	1 3 . 3

(年齢)

令和 3 年 4 月 1 日現在

団 別 年齢別	土 庄 町 消 防 団	小 豆 島 町 消 防 団	合 計
1 8 才 ～ 2 0 才	0	3	3
2 1 才 ～ 2 5 才	6	7	1 3
2 6 才 ～ 3 0 才	3 2	2 6	5 8
3 1 才 ～ 3 5 才	6 1	3 6	9 7
3 6 才 ～ 4 0 才	7 6	7 2	1 4 8
4 1 才 ～ 4 5 才	9 1	6 8	1 5 9
4 6 才 ～ 5 0 才	5 9	4 6	1 0 5
5 1 才 ～ 5 5 才	1 6	4 0	5 6
5 6 才 ～ 6 0 才	1 3	2 9	4 2
6 1 才 以 上	7	9	1 6
合 計	3 6 1	3 3 6	6 9 7
平 均 年 齢	4 0 . 7	4 2 . 7	4 1 . 7

4. 消防団員数及び装備状況
(団員数)

令和 3 年 4 月 1 日現在

階級別 団 別	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	合 計
土 庄 町 消 防 団	1	2	8	7	1 4	4 8	2 8 1	3 6 1
小 豆 島 町 消 防 団	1	4	1 2	1 3	1 3	5 6	2 3 7	3 3 6
合 計	2	6	2 0	2 0	2 7	1 0 4	5 1 8	6 9 7

(装備状況)

令和 3 年 4 月 1 日現在

種 別 団 別	ポ ン プ 車	積 載 車	小型動力ポンプ	無 線 機
土 庄 町 消 防 団	7	2 9	3 4	3 0
小豆島町消防団	3	2 1	1 9	5 8
合 計	1 0	5 0	5 3	8 8

5. 町別消防車両等種別現況

令和 3 年 4 月 1 日現在

			種 別	年式	車 名	ポ ン プ 型 式	馬力数	購入年月日
土 庄 町 消 防 団	団 本 部	指 揮 車		H28	ト ヨ タ		110	H28. 3. 14
		積 載 車		H 7	日 産		98	H 7. 12. 26
		軽四積載車		H31	ス ズ キ		50	H31. 3. 20
	土 庄 分 団	ポ ン プ 車	A-2	H25	日 野	二段バランスタービン	150	H25. 9. 3
		軽四積載車		H28	三 菱		50	H28. 3. 8
		軽四積載車		H29	三 菱		50	H29. 11. 1
		軽四積載車		R 1	ダイハツ		46	R 1. 7. 4
		軽四積載車		H25	三 菱		50	H25. 11. 1
		軽四積載車		H30	ダイハツ		46	H30. 12. 17
		軽四積載車						
	湊 崎 分 団	ポ ン プ 車	A-2	R 1	日 野	二段バランスタービン	150	R 1. 12. 2
		軽四積載車		H24	三 菱		48	H24. 10. 12
	大 鐸 分 団	ポ ン プ 車	A-2	H15	イ ス ズ	二段バランスタービン	130	H15. 2. 25
		軽四積載車		H18	ダイハツ		33	H18. 2. 9
		軽四積載車		H13	三 菱		30	H13. 11. 5
		軽四積載車		H10	三 菱		30	H10. 4. 16
	北 浦 分 団	ポ ン プ 車	A-2	R 2	日 野	二段バランスタービン	150	R 2. 2. 25
		軽四積載車		H 8	三 菱		30	H 8. 11. 12
		軽四積載車		H 4	ホ ン ダ		38	H 4. 4. 28
		軽四積載車		H 3	ホ ン ダ		38	H 3. 11. 7
		軽四積載車		H 3	ホ ン ダ		38	H 3. 11. 7
	四 海 分 団	ポ ン プ 車	A-2	H 9	三 菱	二段バランスタービン	130	H 9. 9. 2
		軽四積載車		H 9	ホ ン ダ		38	H 9. 3. 12
		軽四積載車		H 4	ホ ン ダ		38	H 4. 2. 27
		軽四積載車		H 4	ホ ン ダ		38	H 4. 4. 28
	豊 島 分 団	ポ ン プ 車	A-2	H12	三 菱	二段バランスタービン	130	H12. 9. 25
		軽四積載車		R 3	ダイハツ		46	R 3. 3. 24
		軽四積載車		H25	ダイハツ		53	H25. 10. 22
		軽四積載車		H18	三 菱		35	H18. 2. 9
		軽四積載車		S63	三 菱		30	S63. 7. 1
		軽四積載車		H22	ダイハツ		49	H22. 11. 16
	大 部 分 団	軽四積載車		H18	ホ ン ダ		46	H18. 7. 17
		ポ ン プ 車	A-2	H27	日 野	二段バランスタービン	150	H27. 2. 19
		軽四積載車		H 6	三 菱		42	H 6. 6. 17
		軽四積載車		H 6	三 菱		42	H 6. 6. 17
		軽四積載車		H 6	三 菱		42	H 6. 6. 17
		軽四積載車		H 6	三 菱		42	H 6. 6. 17
		軽四積載車		S63	三 菱		30	S63. 11. 21

小豆島町消防団	団本部	積載車		H 8	トヨタ		105	H 8.10.23
		積載車		H 6	日産		91	H 6. 1.28
		軽四積載車		H13	スバル		34	H13. 4. 1
	西村分団	積載車		H19	三菱		110	H19. 3.19
		軽四積載車		S62	スズキ		28	S62.11.27
	草壁分団	積載車		H19	日産		98	H19. 2.19
		積載車		H 4	トヨタ		105	H 4. 8.28
	安田分団	積載車		H12	三菱		105	H12. 8.29
		軽四積載車		H 7	スズキ		42	H 7. 7.24
	苗羽分団	積載車		H22	イスズ		110	H22. 3.26
		積載車(人搬)		H 9	日産		98	H 9. 9.18
	坂手分団	ポンプ車	A-2	H27	日野	二段バランスタービン	150	H27. 3.23
		軽四積載車		H 8	スズキ		42	H 8. 9.27
	福田分団	ポンプ車	A-2	H27	日野	二段バランスタービン	150	H27. 2.19
		軽四積載車		H 8	スズキ		42	H 8. 3.18
		軽四積載車		H12	スズキ		49	H12.11. 9
		軽四積載車		H12	スズキ		49	H12.11.10
	池田分団	ポンプ車	A-2	R 3	日野	二段バランスタービン	150	R 3. 3.26
	蒲生分団	積載車		H13	三菱		94	H13. 9. 4
	中山分団	積載車		H12	三菱		94	H12. 2.28
	室生分団	積載車		H15	三菱		94	H15. 9. 3
	二面分団	積載車		H10	トヨタ		91	H10. 3.10
	三都分団	積載車		H14	三菱		94	H14. 8.20
		積載車		H11	三菱		94	H11. 3.17

6. 消防団員報酬調

令和 3 年 4 月 1 日現在

階 級 団 別	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
土庄町消防団	75,000	60,000	47,000	33,000	25,000	21,000	17,000
小豆島町消防団	75,000	60,000	47,000	33,000	25,000	21,000	17,000

7. 消防団員諸手当調

令和 3 年 4 月 1 日現在

区 分 団 別	水・火災出動 (1回あたり)	警 戒 出 動 (1回あたり)	訓 練 出 動 (1回あたり)
土庄町消防団	2,000	2,000	2,000
小豆島町消防団	2,000	2,000	2,000